

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack ソフトウェア説明書

2014年7月
富士通株式会社

まえがき

本書の目的

本書は、Microsoft System Center 2012 Operations Managerおよび、Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Managerを使用して富士通ストレージシステム ETERNUSを監視するための管理パックFujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packについて説明します。

本書の読者

本書は、Microsoft System Center 2012 Operations Managerおよび、Microsoft System Center 2012 Virtual Machine Managerを使用して富士通ストレージシステム ETERNUSを監視するシステム管理者を対象としています。

本書の構成

本書は、第1章～付録Bからなり、以下の構成となっています。

[概要](#)

本機能の概要について記述しています。

[セットアップと削除](#)

本機能のインストール方法、設定方法および削除方法について記述しています。

[運用](#)

本機能を使用する際の運用手順について記述しています。

[メッセージ](#)

本機能を使用するにあたって出力されるメッセージや、トラブル発生時の運用方法について記述しています。

[設定ファイル](#)

本機能を使用するための設定ファイルについて記述しています。

表記上の注意

- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition、Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Editionを、“Windows Server 2003”と略しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition、Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Editionを、“Windows Server 2003 R2”と略しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard、Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise、Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Datacenterを、“Windows Server 2008”と略しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard、Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise、Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenterを、“Windows Server 2008 R2”と略しています。
- Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard、Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenterを、“Windows Server 2012”と略しています。
- ETERNUS SF Storage Cruiserを、“ESC”、または“Storage Cruiser”と略しています。
- Microsoft(R) System Center 2012 Operations Managerを、“SCOM”と略しています。
- VMware(R) vCenter Serverを、“vCenter Server”または“vCenter”と略しています。
- Java Runtime Environmentを、“JRE”と略しています。
- Microsoft(R) System Center 2012 Virtual Machine Managerを、“SCVMM”と略しています。

- ETERNUS SF Express / ETERNUS SF Storage Cruiser / ETERNUS SF AdvancedCopy Manager 導入ガイドを、“ETERNUS SF 導入ガイド”と略しています。

輸出管理規制表記

当社ドキュメントには、外国為替および外国貿易管理法に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

商標について

- Microsoft Windows、Windows Vista、Windows Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VMware、VMwareロゴ、Virtual SMPおよびVMotionは、VMware, Incの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Copyright 2013-2014 FUJITSU LIMITED

目次

第1章	概要	1
1.1	Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack	1
1.1.1	システム構成	2
1.1.2	動作条件	4
1.2	ETERNUS Information Provider	5
1.2.1	システム構成	5
1.2.2	動作条件	5
第2章	セットアップと削除	7
2.1	Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップと削除	7
2.1.1	セットアップ	7
2.1.2	削除	12
2.2	PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップと削除	15
2.2.1	セットアップ	15
2.2.2	削除	20
2.3	ETERNUS SF Storage Cruiser V15.X以前	23
2.3.1	ETERNUS Information Providerのセットアップとアンインストール	23
2.3.2	ETERNUS Information Providerサービスの起動と停止	30
2.4	ETERNUS SF Storage Cruiser V16.0以降	30
2.4.1	ETERNUS SF Managerへの設定	30
第3章	運用	31
3.1	Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packの運用	31
3.1.1	監視対象サーバの検出	31
3.1.2	画面構成	31
3.2	PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packの運用	38
3.2.1	監視対象サーバの検出	38
3.2.2	画面構成	40
3.3	保守情報の採取	46
3.3.1	ETERNUS SF Storage Cruiser保守情報の採取	46
3.3.2	ETERNUS Information Provider保守情報の採取	46
付録A	メッセージ	47
A.1	Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのメッセージ	47
A.1.1	サービス状態に関するメッセージ	47
A.1.2	イベントトラップに関するメッセージ	47
A.1.3	PROに関するメッセージ	48
A.2	ETERNUS Information Providerのメッセージ	49
A.2.1	イベントログ	49
付録B	設定ファイル	52
B.1	ETERNUS Information Provider の設定ファイル	52
B.1.1	設定ファイルで設定する項目	52
B.2	Properties ファイル	52
B.2.1	propertiesファイルで設定する項目	52
付録C	コマンドリファレンス	54
C.1	SCVMMサーバ名登録コマンド(defreginfo)	54

C.2	コマンドが出力するメッセージ.....	54
-----	---------------------	----

第1章 概要

本章では、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackおよびETERNUS Information Providerの概要について説明します。

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0以降、ETERNUS Information Providerは使用しません。

1.1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packは、SCOMでETERNUSディスクアレイの監視を可能とする管理パックです。

ESC(*1)の運用管理サーバをSCOM監視対象サーバとすることで、以下の監視を可能とします。

- Windows版ESCマネージャが管理しているETERNUSディスクアレイのイベント監視
- Windows版ESCマネージャサービスの死活監視

また、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packは、SCOMとSCVMMでETERNUSディスクアレイを監視し、PRO(Performance and Resource Optimization)機能の利用を可能とする管理パックです。

PRO機能の詳細については、SCOMおよび、SCVMMのドキュメントを参照してください。

*1) ESCは、富士通が提供する有償のソフトウェアです。

注)

ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降、ETERNUS Information Providerは使用しません。

ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0を使用してください。

ETERNUS SF Storage CruiserのV15.X以前は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V15.1を使用してください。

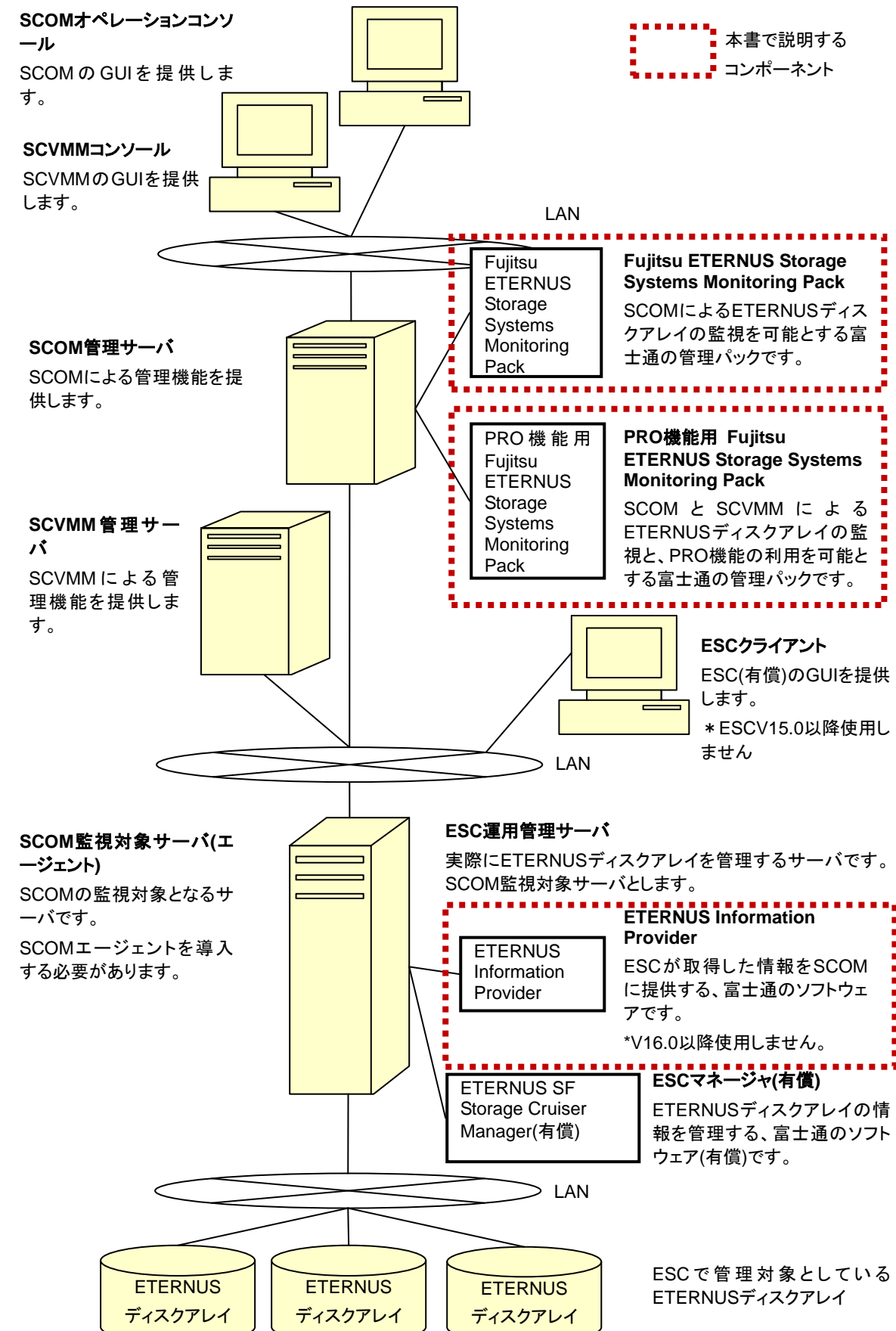
ETERNUS SF Storage Cruiser をV15.X以前からV16.0にバージョンアップするときは、必ず、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackもV15.1からV16.0にバージョンアップしてください。

1.1.1 システム構成

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packおよび、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packは、ESC(有償)の機能を利用してETERNUSディスクアレイの情報を取得し、監視します。

以下は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packおよび、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを使用してETERNUSディスクアレイを監視する場合の構成例です。

図1.1.1 システム構成例



1.1.2 動作条件

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを使用するために必要な条件について説明します。

1.1.2.1 ハードウェア条件

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを使用するには、以下のハードウェア装置が必要です。

- 1) SCOM管理サーバの条件
詳細はSCOMのドキュメントを参照してください。
- 2) SCOM監視対象サーバの条件
ESCの運用管理サーバを、SCOMエージェントによる監視対象サーバとします。
 - SCOMエージェントサーバに必要な条件について、詳細はSCOMのドキュメントを参照してください。
 - ESC運用管理サーバに必要な条件について、詳細は本書の「[1.2.2.1 ハードウェア条件](#)」を参照してください。

1.1.2.2 ソフトウェア条件

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを使用するためのソフトウェア条件は以下の通りです。

- 1) SCOM管理サーバの条件
詳細はSCOMのドキュメントを参照してください。
- 2) SCOM監視対象サーバの条件
ESCの運用管理サーバを、SCOMエージェントによる監視対象サーバとします。
 - SCOMエージェントサーバに必要な条件について、詳細はSCOMのドキュメントを参照してください。
 - ESC運用管理サーバに必要な条件について、詳細は本書の「[1.2.2.2 ソフトウェア条件](#)」を参照してください。

1.2 ETERNUS Information Provider

ETERNUS Information Providerは、管理パックからの要求に応じて、富士通ストレージシステム ETERNUSの装置情報を提供するソフトウェアです。ETERNUS Information Providerは、ETERNUS SF Storage CruiserのV15.X以前の版でインストールが必要です。ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降の版では、ETERNUS Information Providerの機能がETERNUS SF Storage Cruiserに含まれるためETERNUS Information Providerのインストールは不要です。

1.2.1 システム構成

システム構成の例は、「[1.1.1 システム構成](#)」を参照してください。

1.2.2 動作条件

ETERNUS Information Providerを使用するために必要な条件について説明します。

1.2.2.1 ハードウェア条件

本ソフトウェアを使用するには、以下のハードウェア装置が必要です。

動作サーバ	要件
運用管理サーバ	メモリ1GByte以上

ストレージ装置	備考
ETERNUS2000 model 50/100/200 (*2) ETERNUS4000 series (*2) ETERNUS8000 series (*2) ETERNUS DX series	(*1)

(*1):SASモデルを除く

(*2) ETERNUS V16.0では未サポート

1.2.2.2 ソフトウェア条件

基本ソフトウェア

インストール先のシステム環境が、以下のどれかであることを確認してください。

OS	備考
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 (x86/x64)	(*1)
Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2 (x86/x64)	(*1)
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 (x86(*1)/x64)	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2	
Microsoft(R) Windows Server(R) 2012	

(*1) V16.0以降では未サポート

必須ソフトウェア

本ソフトウェアを使用するには、以下のソフトウェアが必要です。

製品名	版数	備考
ETERNUS SF Storage Cruiser	14.2, 14.2A, 15.0B, 15.1, 15.2, 15.2A, 15.3, 15.3A, 16.0	(*1)(*2)
Java Runtime Environment(32bit版)	Version 6 Update 6 以降	(*2)(*3)

*1)最新の緊急修正の適用が必要です。

*2)ETERNUS Information Providerをインストールする運用管理サーバ上にインストールされている必要があります。

*3)Storage Cruiserのバージョンが15.0B以降の場合は不要です。Storage Cruiserのバージョン14.2または14.2Aとの組合せの場合は、JREのベンダーが配布しているものを別途入手してください。

-
-
- 排他ソフトウェアは、Storage Cruiserの排他ソフトウェアに準じます。

Storage Cruiserのバージョン14.2および14.2Aの排他ソフトウェアの詳細は、『ETERNUS SF Storage Cruiser 14.2 インストールガイド』を参照してください。

Storage Cruiserのバージョン15.0B以降の排他ソフトウェアの詳細は、『ETERNUS SF 導入ガイド』を参照してください。

第2章 セットアップと削除

本章では、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackおよびETERNUS Information Providerのセットアップおよび削除手順について説明します。

2.1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップと削除

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップおよび削除手順について説明します。

2.1.1 セットアップ

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackをSCOMにセットアップします。

- [事前準備](#)
- [導入手順](#)

2.1.1.1 事前準備

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのファイル(Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.mp)を、オペレーションコンソールから参照できる任意の作業用ディレクトリに格納します。

本書では、例として以下のように格納した場合について説明します。

C:\temp\Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.mp
--

ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降、ETERNUS Information Providerは使用しません。

ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0を使用してください。

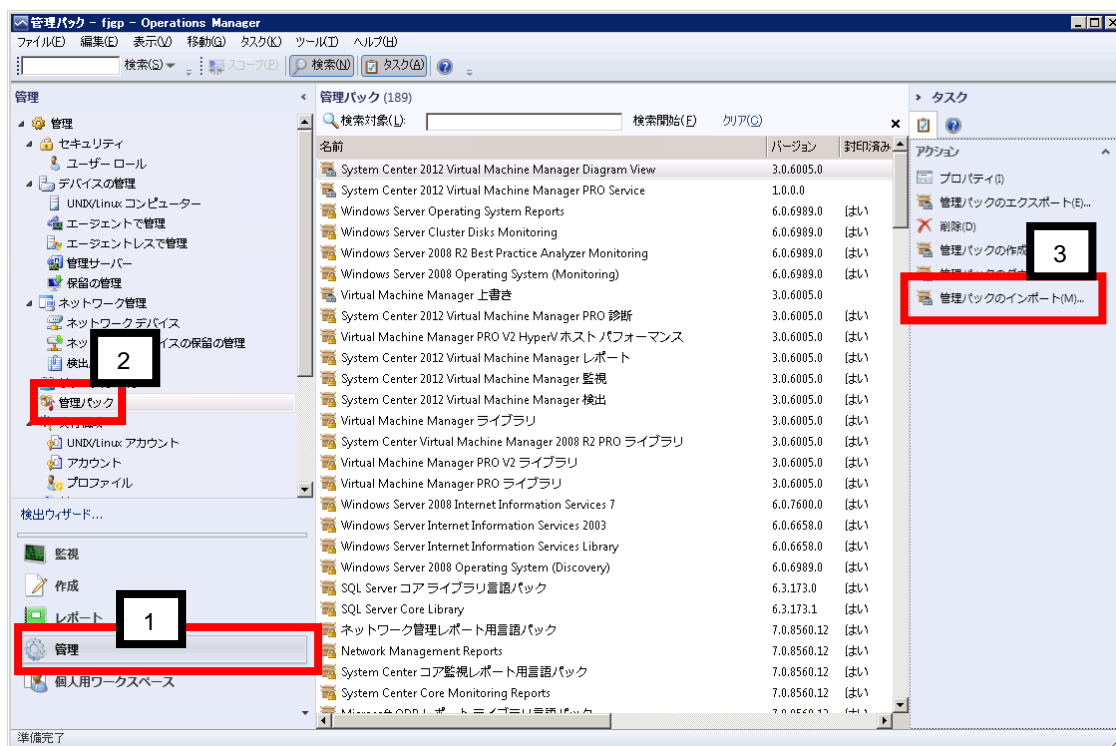
ETERNUS SF Storage CruiserのV15.X以前は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V15.1を使用してください。

ETERNUS SF Storage Cruiser をV15.X以前からV16.0にバージョンアップするときは、必ず、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackもV15.X以前からV16.0にバージョンアップしてください。その際は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V15.1を削除してから、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0を導入してください。

2.1.1.2 導入手順

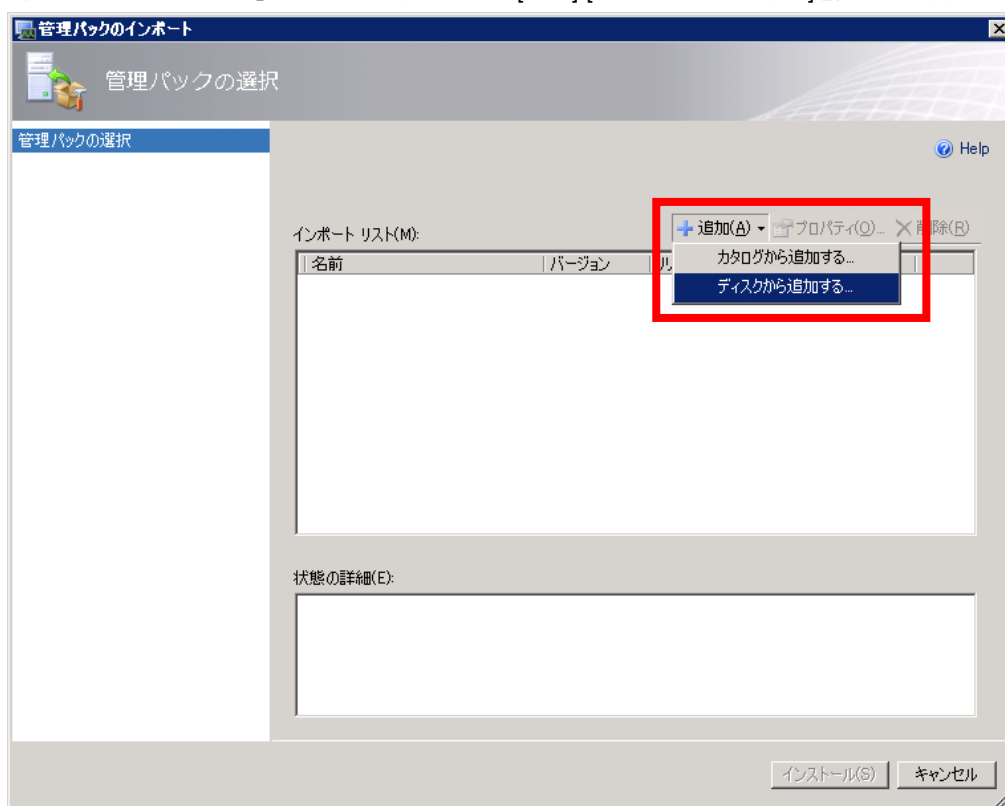
1. オペレーションコンソールの起動

- 1) SCOMオペレーションコンソールを起動し、[管理]ペインを表示します。
- 2) ナビゲーションウィンドウの[管理パック]を選択します。
- 3) [アクション]の[管理パックのインポート]を実行し、「管理パックのインポート」ダイアログを開きます。

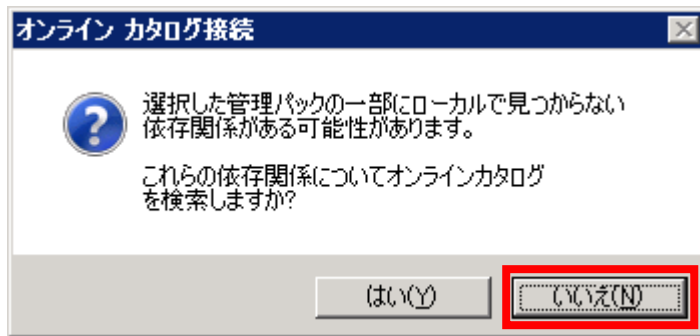


2. 管理パックの選択

「管理パックのインポート」ダイアログで、メニューの[追加]-[ディスクから追加する]を実行します。

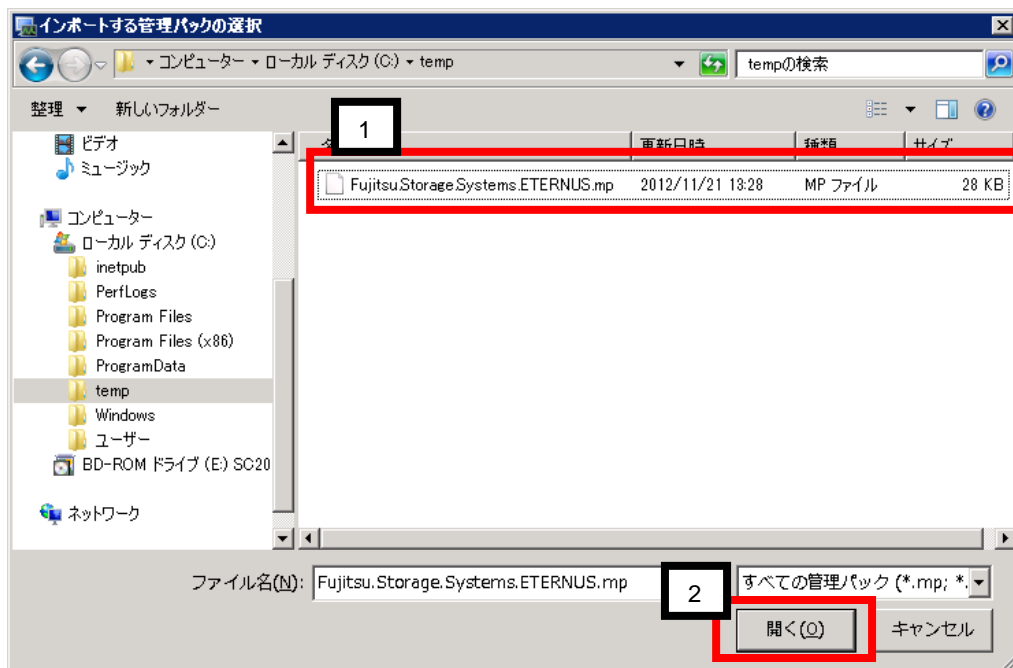


なお、以下のダイアログが表示された場合は「いいえ」を選択してください。

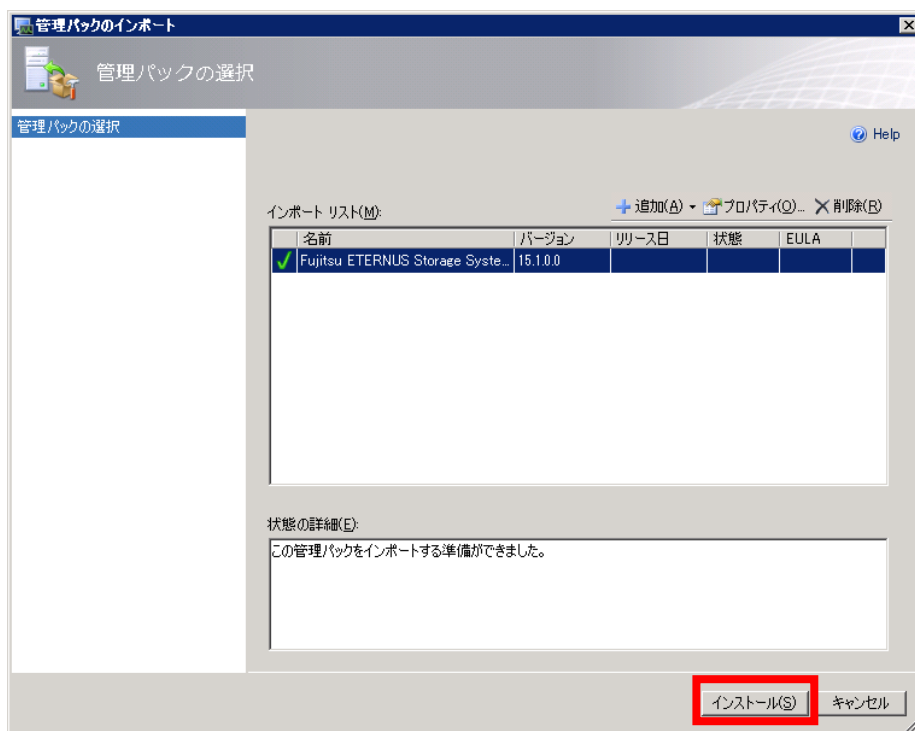


「インポートする管理パックの選択」ダイアログが開きます。

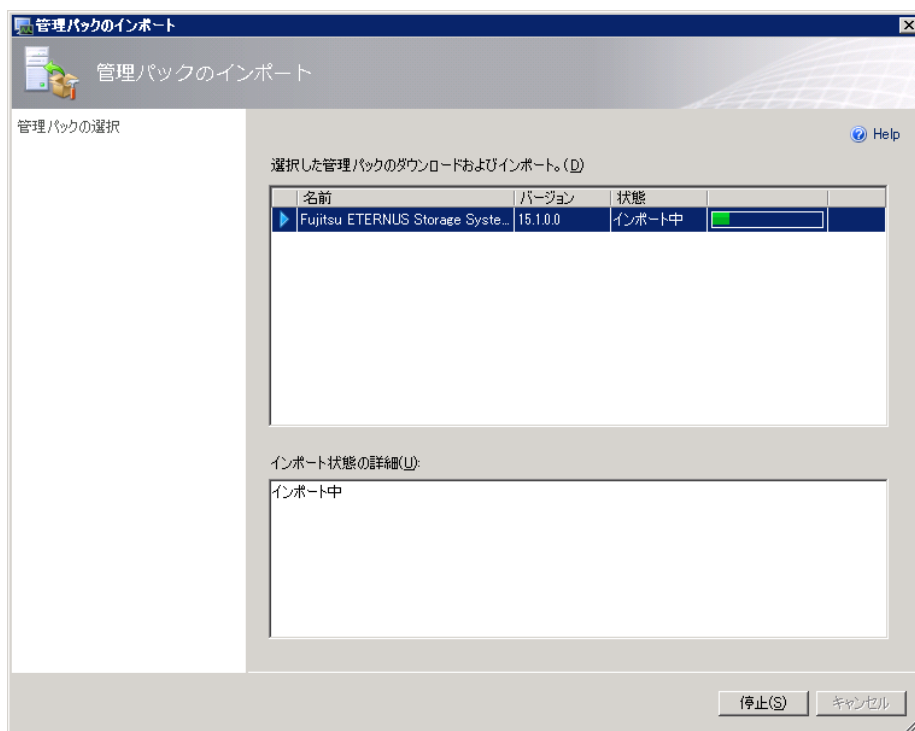
- 1) Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack の ファ イ ル (Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.mp)を選択します。
- 2) [開く]を実行します。



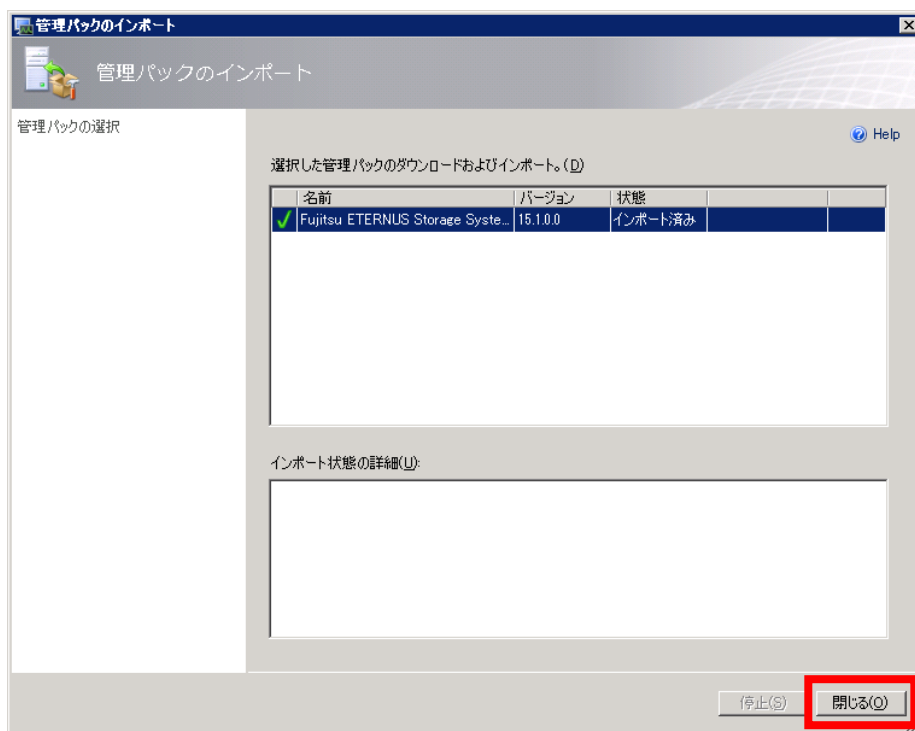
3. インポートの実行
以下のダイアログが表示されたら、[インストール]を実行します。



管理パックのインポートが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

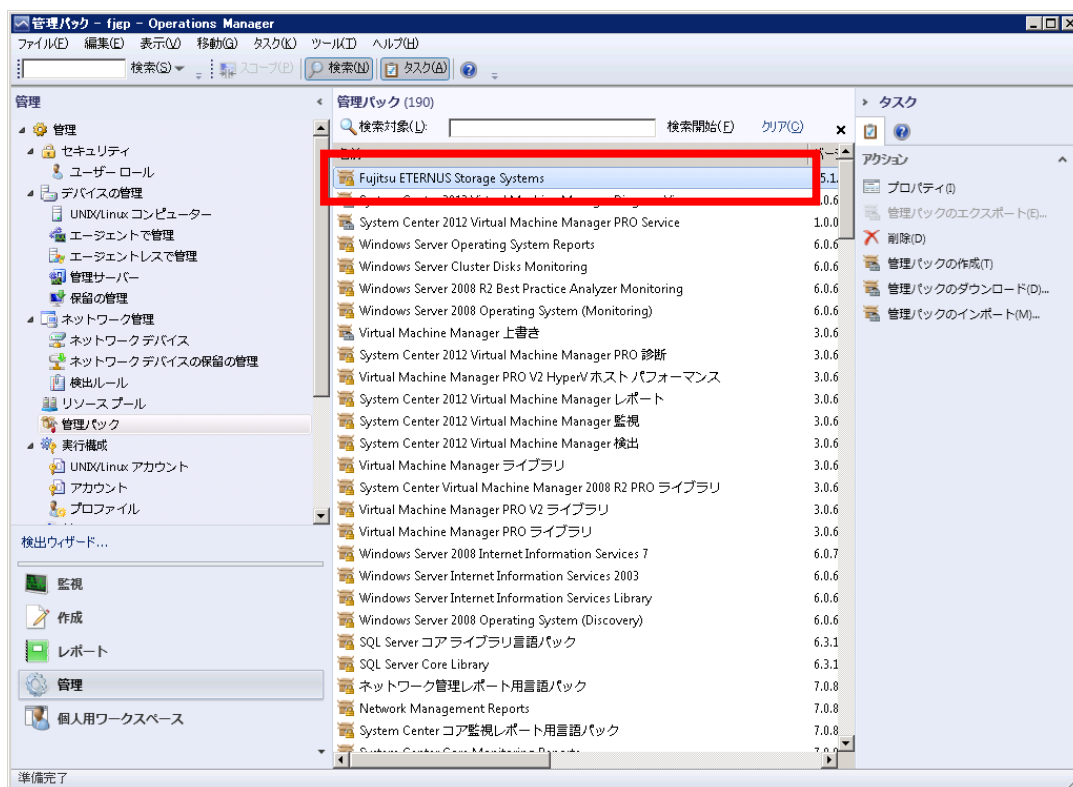


インポートが完了すると、以下のダイアログが表示されます。状態が「インポート済み」になっていることを確認して、[閉じる]を実行します。



4. インポートの確認

[管理]ペインの管理パkker一覧に、“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”が表示されていることを確認してください。



注意

- インポートが完了した後は、管理パックのファイル(Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.mp)は不要となります。削除しても問題はありません。
 - 「管理パックのインポート」ダイアログを閉じた後、[管理]ペインの一覧に“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”が表示されるまでには、しばらく時間がかかる場合があります。メニューの[表示]-[最新の情報に更新]を実行して確認してください。
-
-

2.1.2 削除

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを削除します。

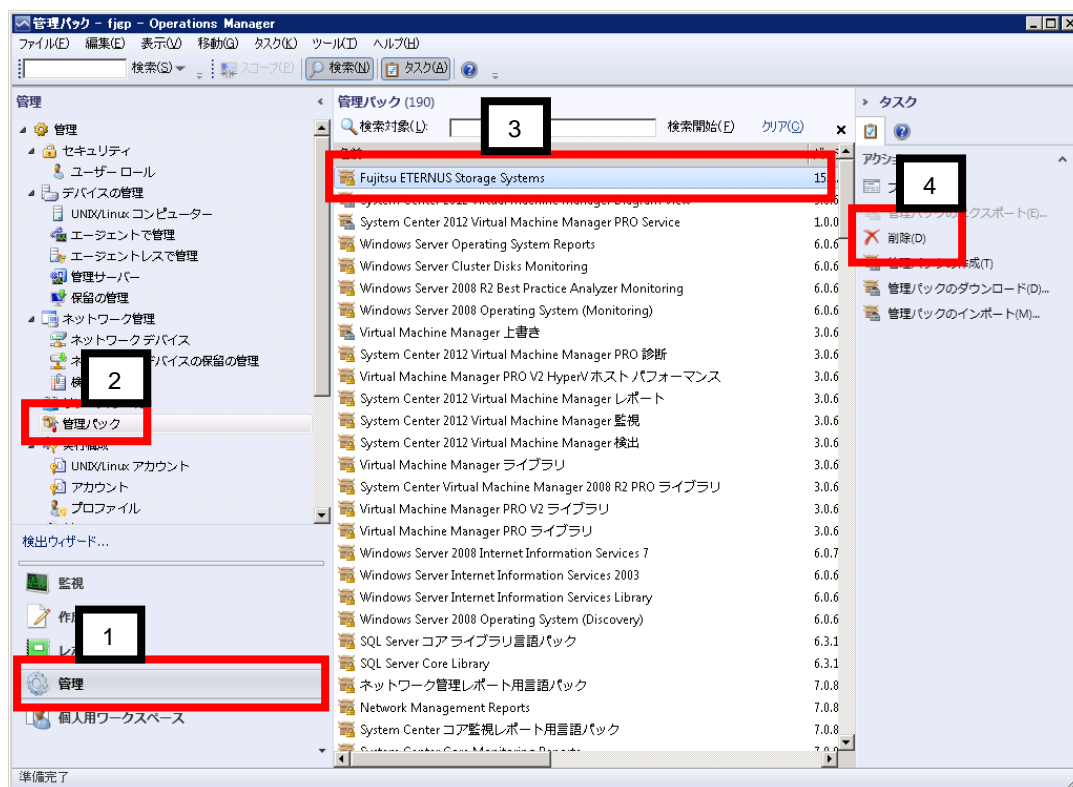
- [事前準備](#)
- [削除手順](#)

2.1.2.1 事前準備

PRO機能用管理パックのセットアップを実施している場合は、PRO機能用管理パックを削除する必要があります。
「[2.2.2 削除](#)」を実施してください。

2.1.2.2 削除手順

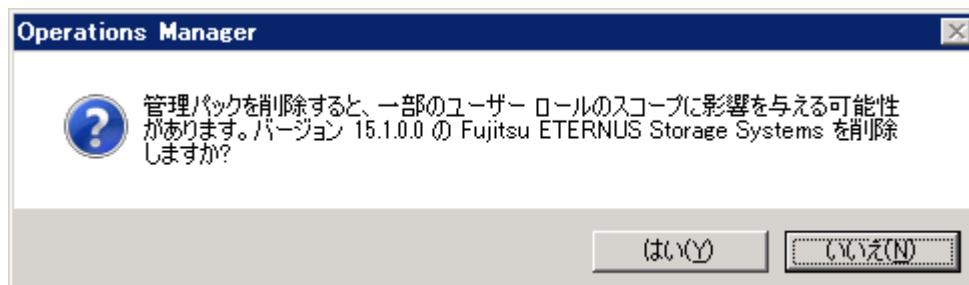
1. オペレーションコンソールの起動
 - 1) SCOMのオペレーションコンソールを起動し、[管理]ペインを表示します。
 - 2) ナビゲーションウィンドウの[管理パック]を選択します。
 - 3) 管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”を選択します。
 - 4) [アクション]の[削除]を実行します。



2. 削除の実行

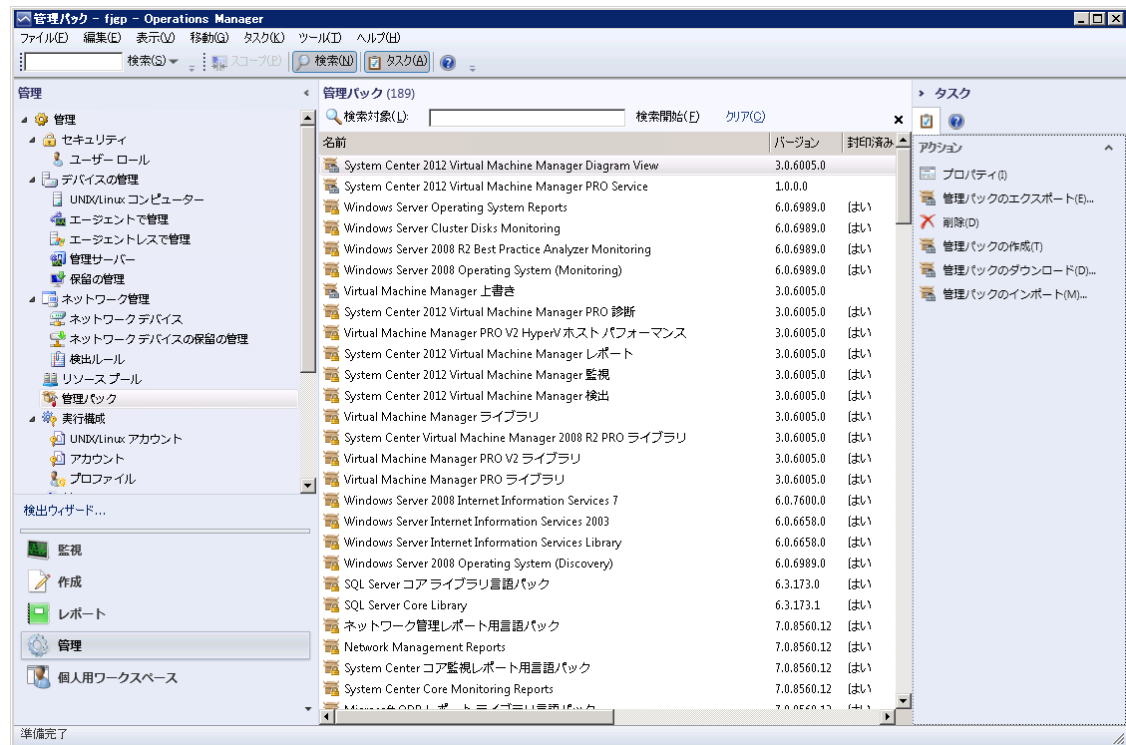
以下のような確認ダイアログが表示されます。

「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると、削除はキャンセルされます。



3. 削除の確認

管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”が削除されていることを確認します。



注意

- 削除操作を実施した後、[管理]ペインの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”が消えるまでには、しばらく時間がかかる場合があります。メニューの[表示]-[最新の情報に更新]を実行して確認してください。

2.2 PRO 機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップと削除

PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのセットアップおよび削除手順について説明します。

2.2.1 セットアップ

PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackをSCOMにセットアップします。

- [事前準備](#)
- [導入手順](#)

2.2.1.1 事前準備

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのファイルのセットアップ手順が行われている必要があります。
「[2.1.1 セットアップ](#)」を実施してください。

PRO 機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack の ファイル (Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.PRO.mp)を、オペレーションコンソールから参照できる任意の作業用ディレクトリに格納します。

本書では、例として以下のように格納した場合について説明します。

C:\temp\Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.PRO.mp
--

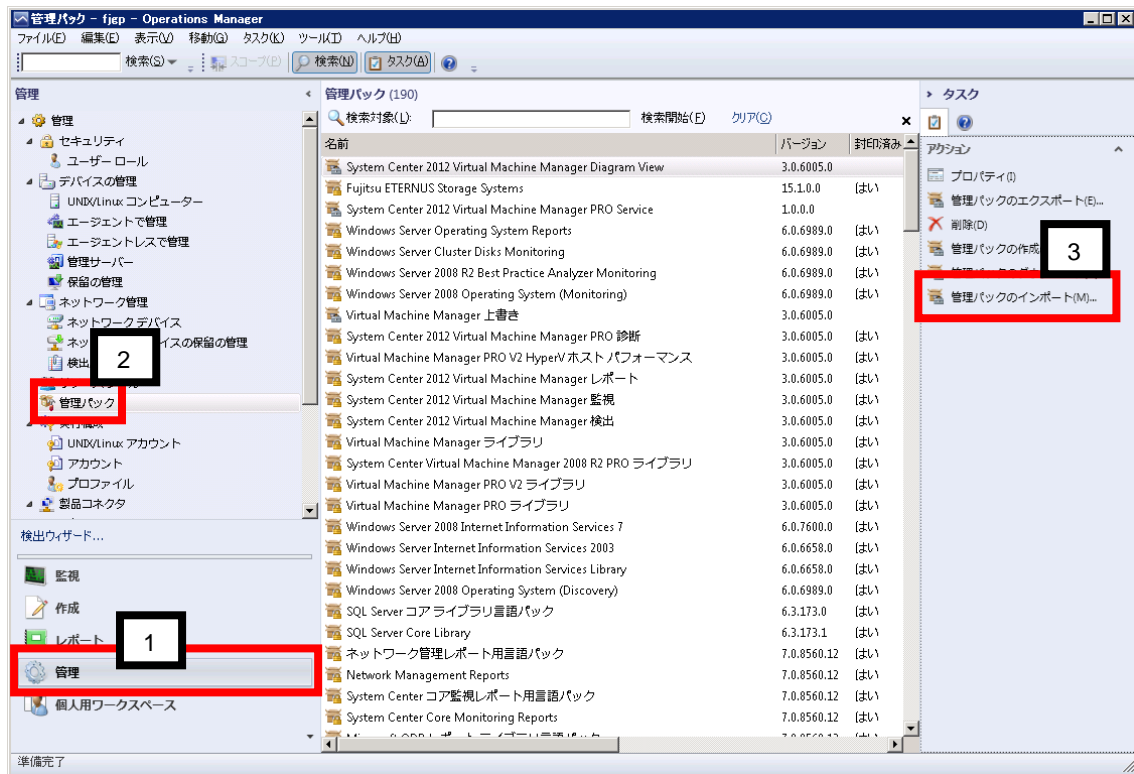
ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降は、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0を使用してください。

ETERNUS SF Storage CruiserのV15.X以前は、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V15.1を使用してください。

ETERNUS SF Storage Cruiser をV15.X以前からV16.0にバージョンアップするときは、必ず、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackもV15.X以前からV16.0にバージョンアップしてください。その際は、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V15.1を削除してから、PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack V16.0を導入してください。

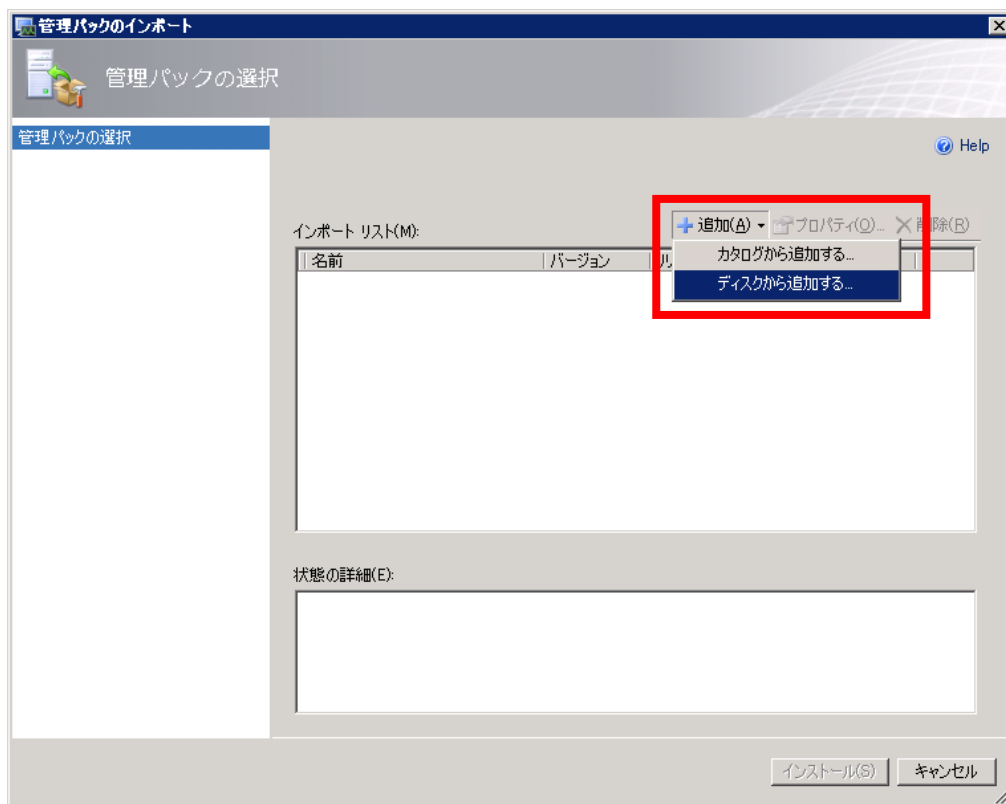
2.2.1.2 導入手順

1. オペレーションコンソールの起動
 - 1) SCOMオペレーションコンソールを起動し、[管理]ペインを表示します。
 - 2) ナビゲーションウィンドウの[管理パック]を選択します。
 - 3) [アクション]の[管理パックのインポート]を実行し、「管理パックのインポート」ダイアログを開きます。

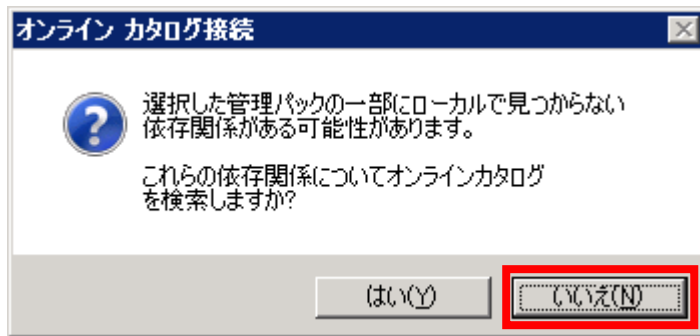


2. 管理パックの選択

「管理パックのインポート」ダイアログで、メニューの[追加]-[ディスクから追加する]を実行します。

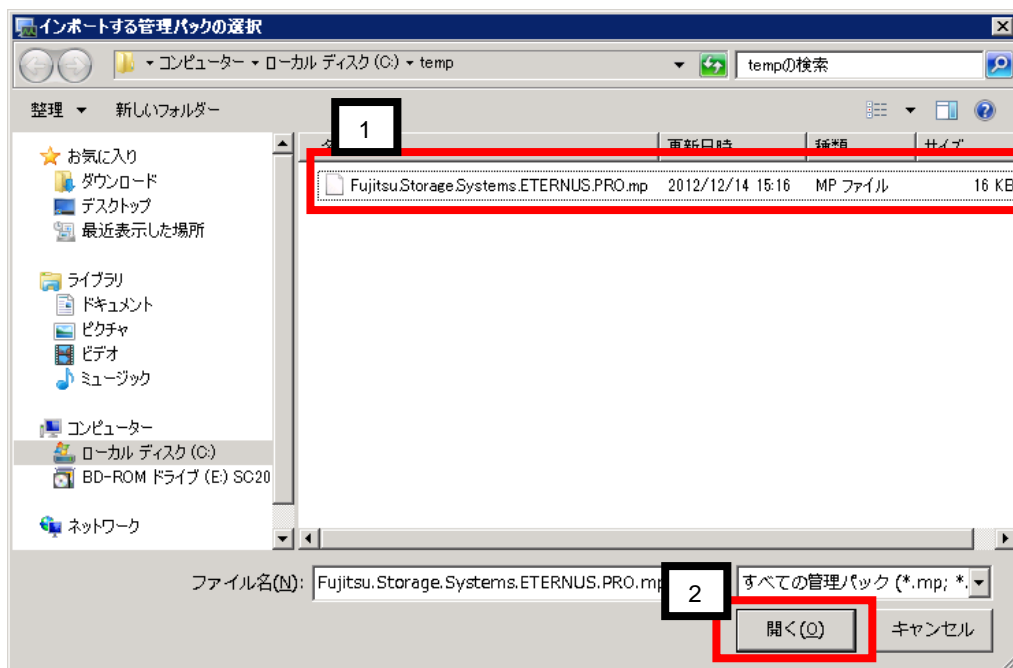


なお、以下のダイアログが表示された場合は「いいえ」を選択してください。



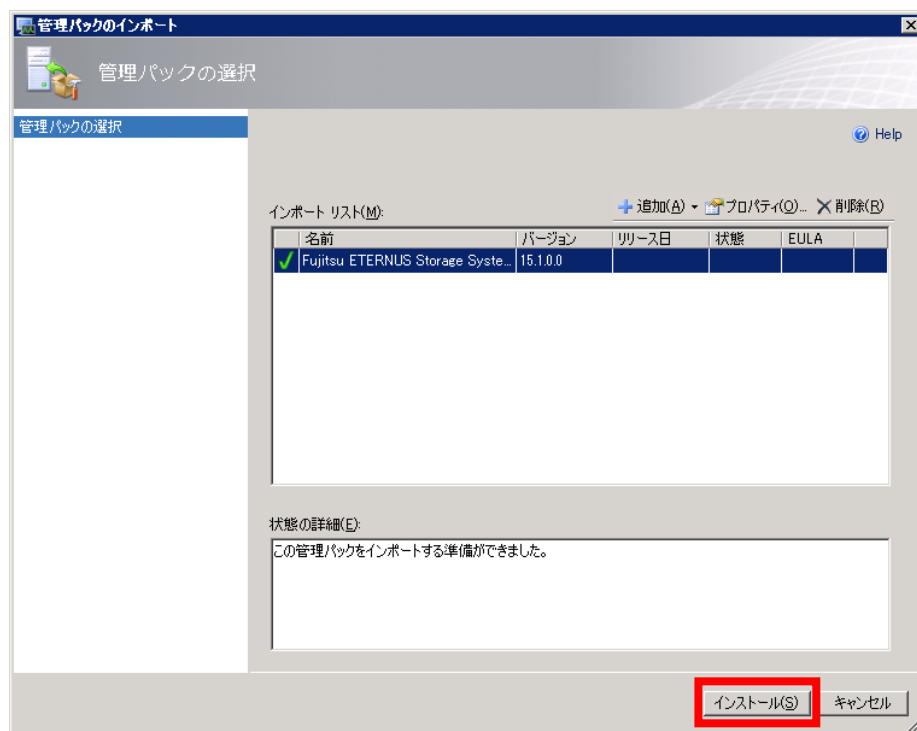
「インポートする管理パックの選択」ダイアログが開きます。

- 1) PRO 機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack のファイル (Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.PRO.mp)を選択します。
- 2) [開く]を実行します。

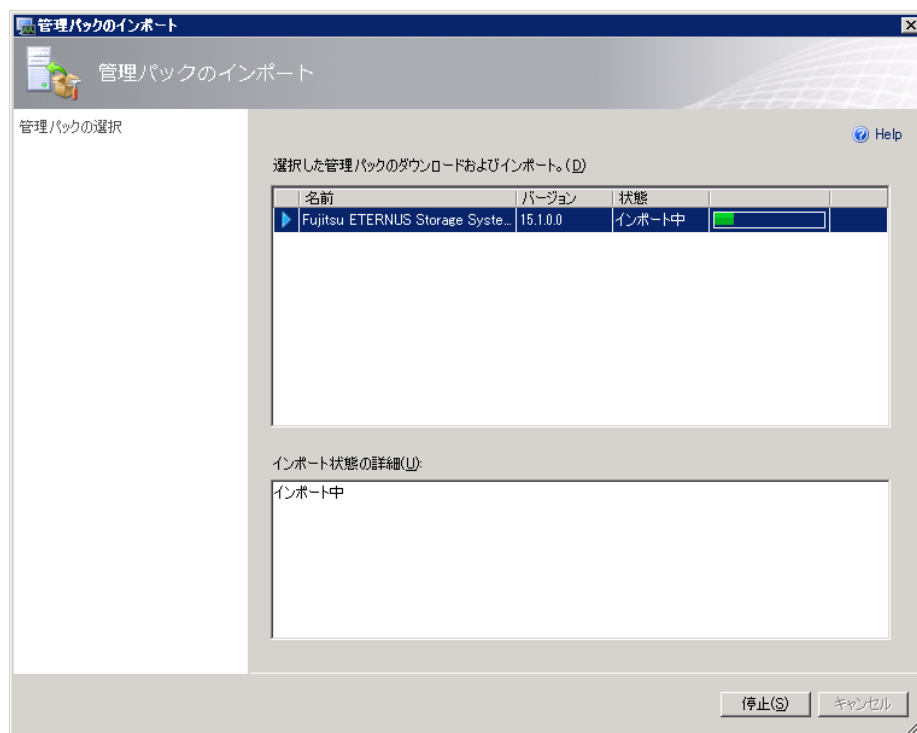


3. インポートの実行

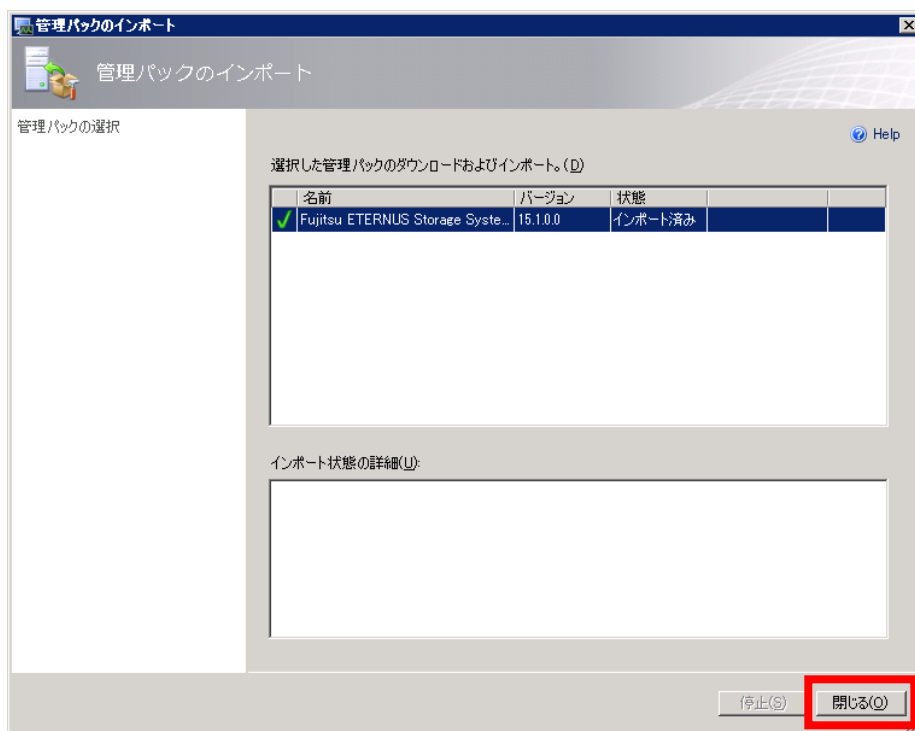
以下のダイアログが表示されたら、[インストール]を実行します。



管理パックのインポートが始まります。完了するまでしばらくお待ちください。

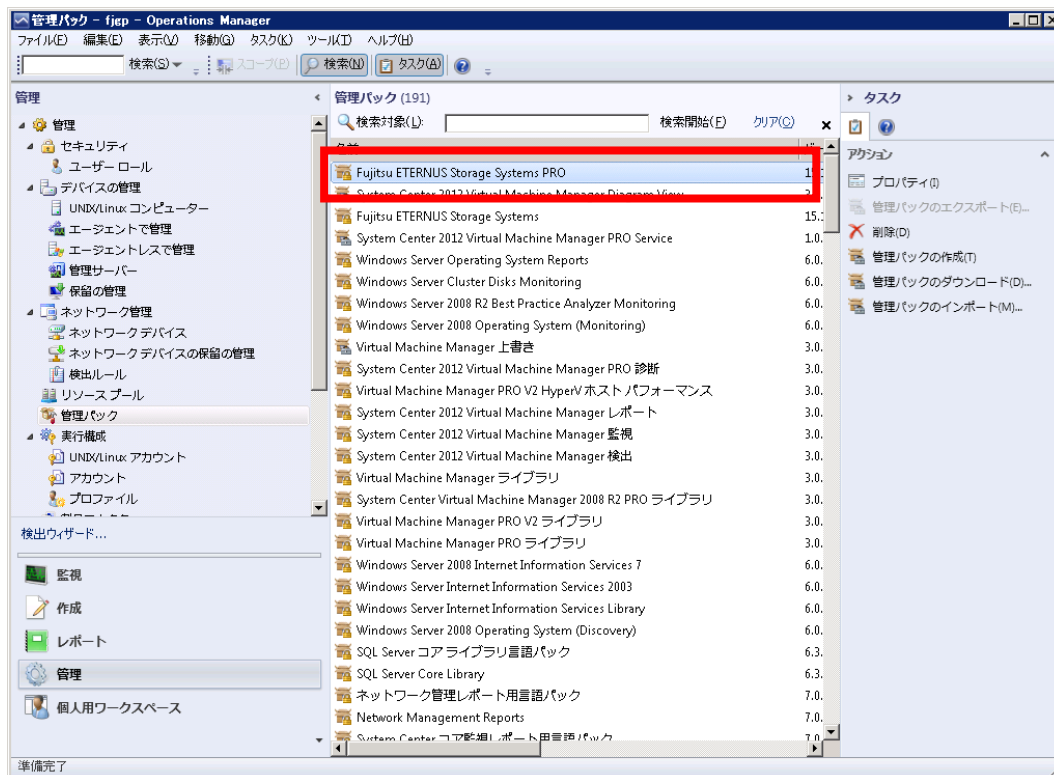


インポートが完了すると、以下のダイアログが表示されます。状態が「インポート済み」になっていることを確認して、[閉じる]を実行します。



4. インポートの確認

[管理]ペインの管理パッケー覧に、“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO”が表示されていることを確認してください。



注意

- インポートが完了した後は、管理パックのファイル(Fujitsu.Storage.Systems.ETERNUS.PRO.mp)は不要となります。削除しても問題はありません。
 - 「管理パックのインポート」ダイアログを閉じた後、[管理]ペインの一覧に“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO”が表示されるまでには、しばらく時間がかかる場合があります。メニューの[表示]-[最新の情報に更新]を実行して確認してください。
-
-

2.2.2 削除

PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packを削除します。

- [事前準備](#)
- [削除手順](#)

2.2.2.1 事前準備

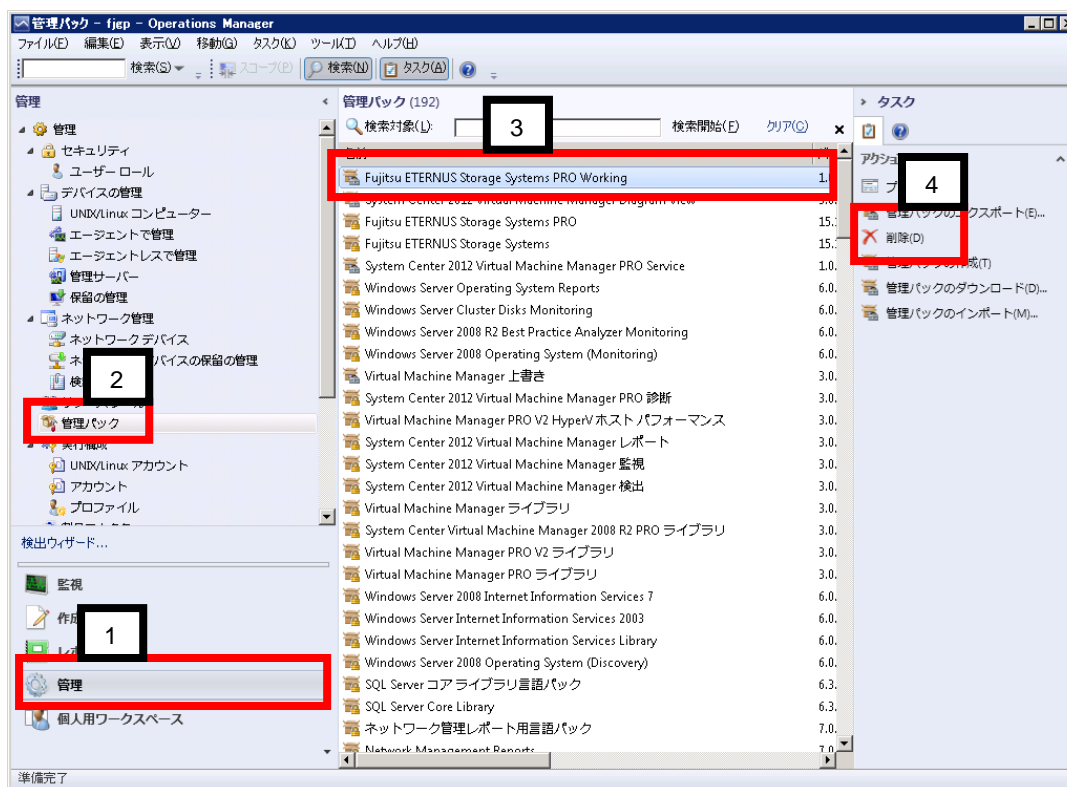
削除については、特別な準備は必要ありません。

2.2.2.2 削除手順

Working管理パックとPRO機能用管理パックの削除を実施します。Working管理パックは「[3.2.1 監視対象サーバの検出](#)」によって自動的に作成されるファイルです。本管理パックが存在しない場合は、下記「Working管理パックの削除」の手順はスキップしてください。

Working管理パックの削除

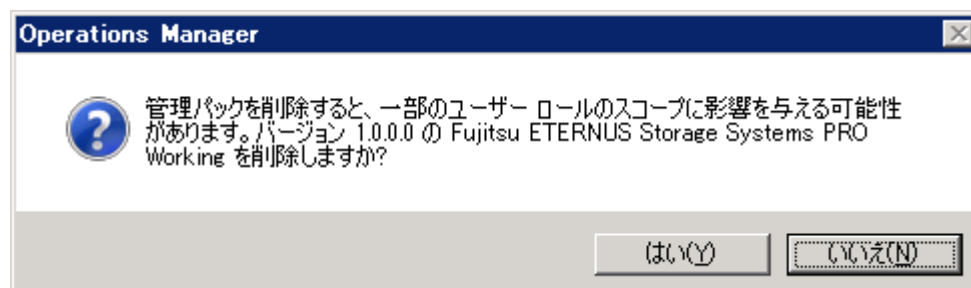
1. オペレーションコンソールの起動
 - 1) SCOMのオペレーションコンソールを起動し、[管理]ペインを表示します。
 - 2) ナビゲーションウィンドウの[管理パック]を選択します。
 - 3) 管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO Working”を選択します。
 - 4) [アクション]の[削除]を実行します。



2. 削除の実行

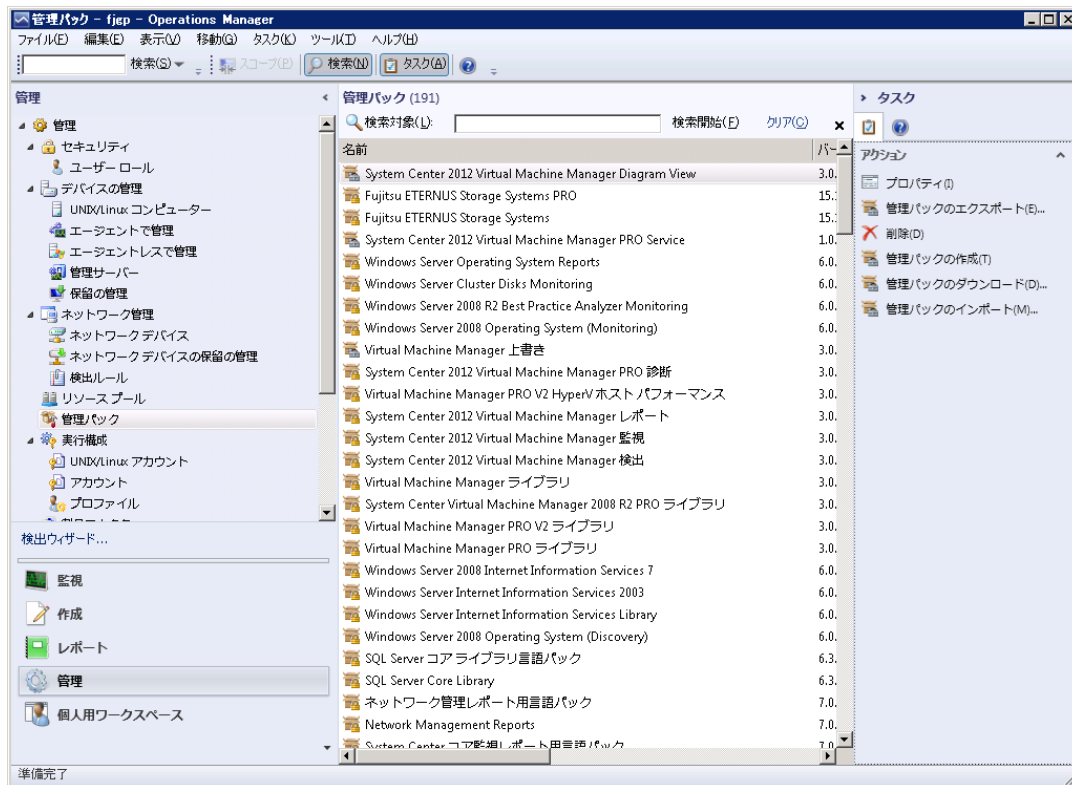
以下のような確認ダイアログが表示されます。

「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると、削除はキャンセルされます。



3. 削除の確認

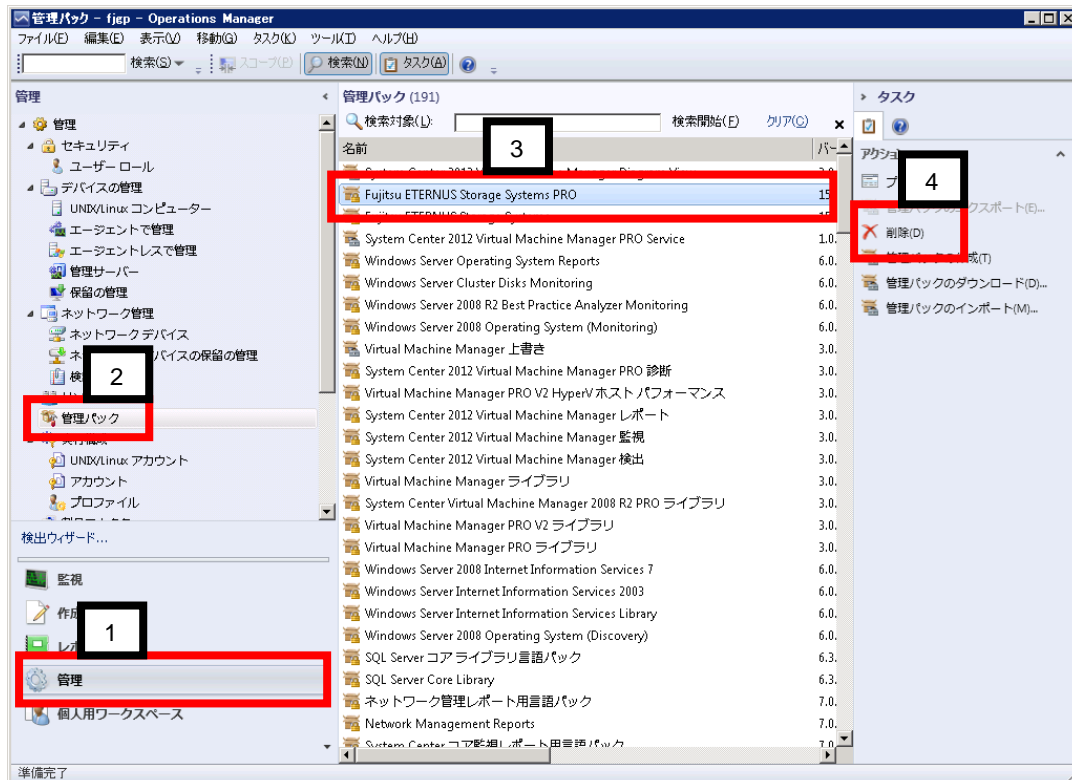
管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO Working”が削除されていることを確認します。



PRO機能用管理パックの削除

1. オペレーションコンソールの起動

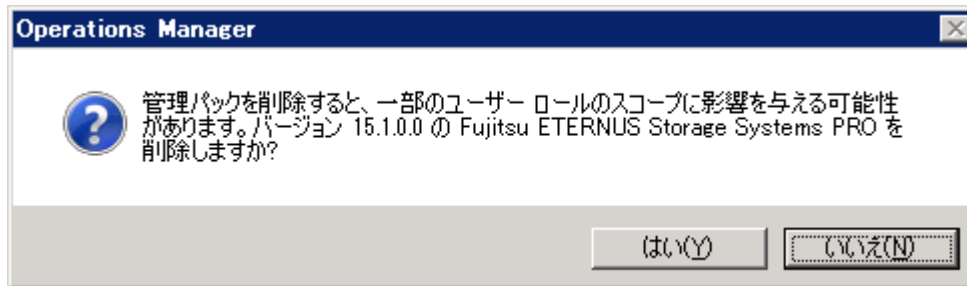
- 1) SCOMのオペレーションコンソールを起動し、[管理]ペインを表示します。
- 2) ナビゲーションウィンドウの[管理パック]を選択します。
- 3) 管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO”を選択します。
- 4) [アクション]の[削除]を実行します。



2. 削除の実行

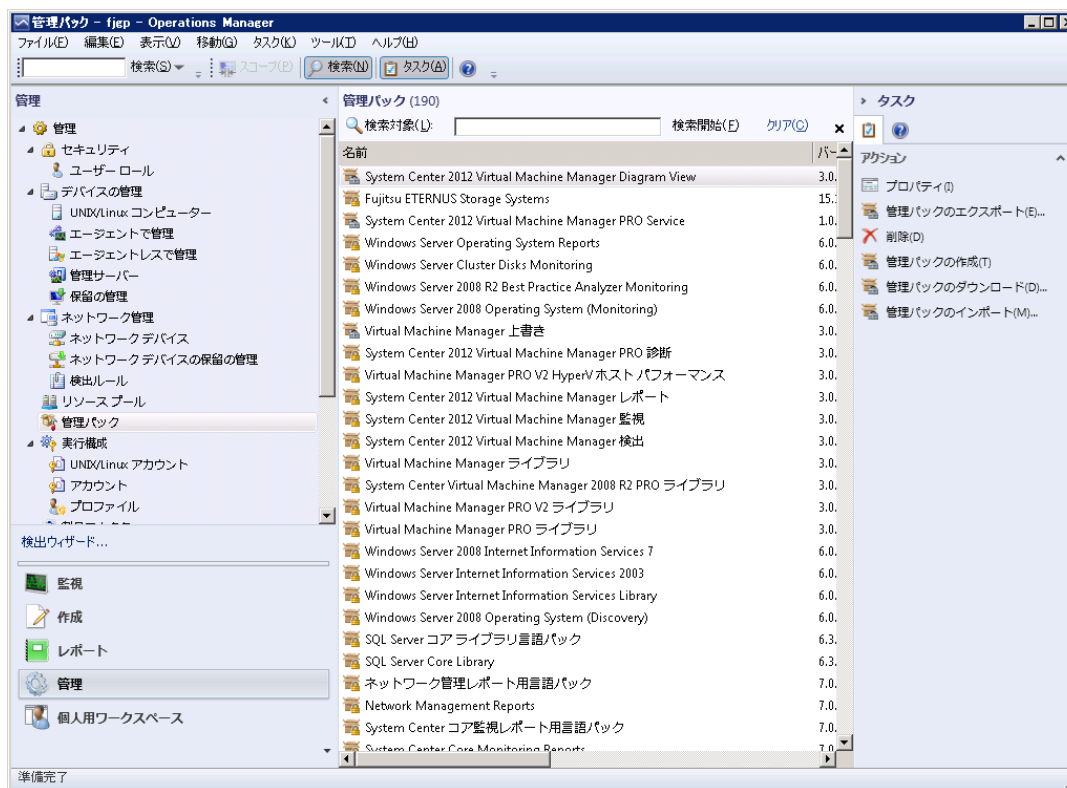
以下のような確認ダイアログが表示されます。

「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると、削除はキャンセルされます。



3. 削除の確認

管理パックの一覧から“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO”が削除されていることを確認します。



2.3 ETERNUS SF Storage Cruiser V15.X以前

2.3.1 ETERNUS Information Providerのセットアップとアンインストール

ETERNUS Information Providerをセットアップおよびアンインストールする方法について説明します。

2.3.1.1 セットアップ

ESCの運用管理サーバにETERNUS Information Providerをセットアップします。

- [事前準備](#)
- [インストール](#)

2.3.1.1.1 事前準備

「[1.2.2.2 ソフトウェア条件](#)」で示す必須ソフトウェアがインストールされていることを確認してください。

2.3.1.2 インストール

ETERNUS Information Providerのインストール手順を説明します。

2.3.1.2.1 インストール手順

1. インストーラ(setup.exe)を実行します。

インストーラは、富士通ホームページからダウンロードしてください。
富士通ホームページ
<http://storage-system.fujitsu.com/jp/download/>

インストーラが起動し、[ETERNUS Information Provider セットアップへようこそ]画面が表示されます。



2. 内容を確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
3. [使用許諾契約]画面で使用許諾の契約を行います。表示されている内容を確認して、問題がない場合は、[はい]ボタンをクリックします。



4. [機能の選択]画面でインストールする機能を指定します。"Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack" にチェックをし、[次へ]ボタンをクリックします。



5. [インストール先の選択]画面でインストール先を指定します。「インストール先のフォルダ」を変更しない場合、[次へ]ボタンをクリックします。
「インストール先のフォルダ」を変更する場合は、[参照]ボタンをクリックします。

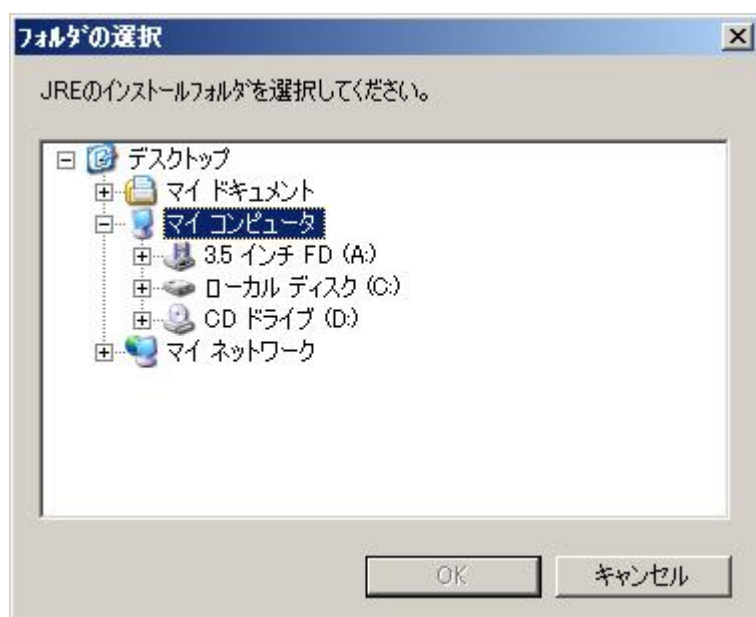


6. [参照]ボタンをクリックした場合、[インストール先の指定]画面で[参照]ボタンをクリックし、インストール先のフォルダを変更します。



7. ESCのバージョン14.2または14.2Aとの組合せの場合、[フォルダの選択]画面で、JREをインストールしたフォルダを指定し、[OK]ボタンをクリックします。ESCのバージョン15.0B以降の場合はこのダイアログはありません。

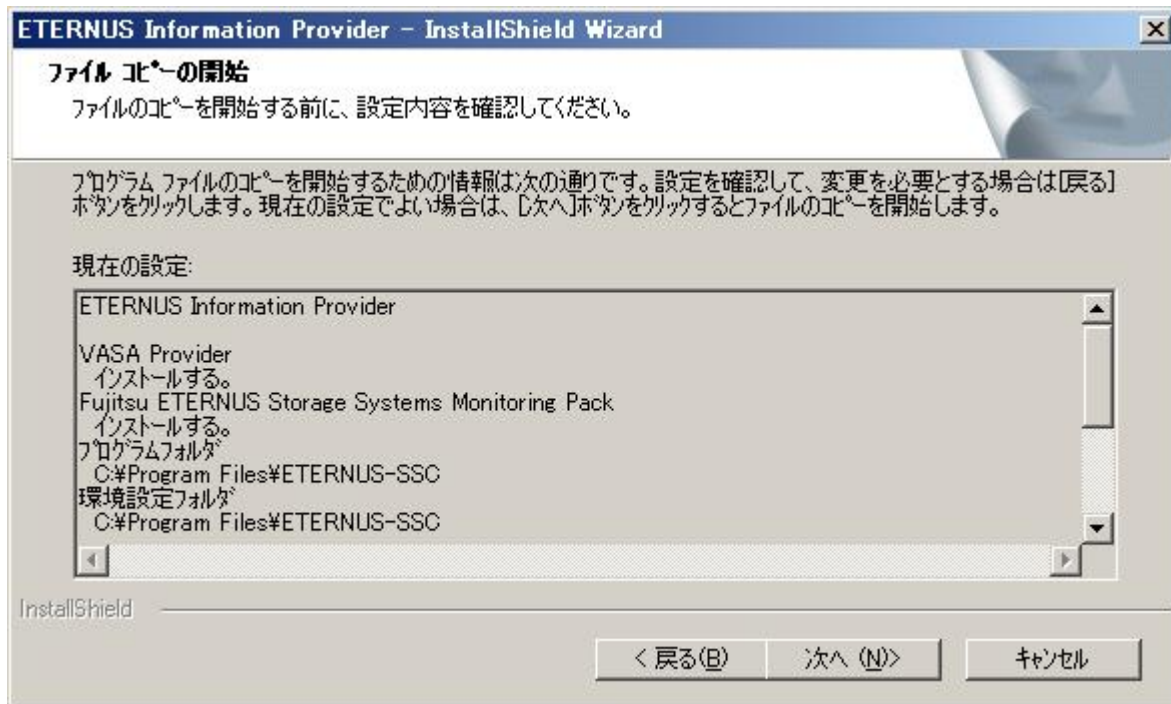
C:\Program Files\Java\jre6



8. VASA Provider機能向けの使用ポート番号を入力します。ポート番号が既に他で使用されている場合は、空いているポート番号に変更してください。
- 本項目は管理パック対応機能では利用しないため、内容に変更がなければ、そのまま<次へ>ボタンをクリックします。



9. [ファイルコピーの開始]画面で、設定内容を確認します。内容を変更しない場合は、[次へ]ボタンをクリックします。内容を変更する場合は、[戻る]ボタンをクリックし変更します。



10. ファイルのコピー処理完了後、運用管理サーバを再起動すればインストールは終了します。インストール処理を完了させるため、[完了]ボタンをクリックします。再起動後、サービスが自動的に開始します。



2.3.1.3 アンインストール

ETERNUS Information Providerを、運用管理サーバからアンインストールする手順について説明します。

- [アンインストール手順](#)

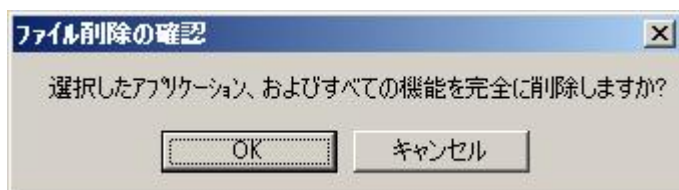
2.3.1.3.1 アンインストール手順

ETERNUS Information Providerをアンインストールする手順を以下に示します。

1. コントロールパネルから、プログラムの追加・削除の画面を開き、ETERNUS Information Providerを選択して<変更と削除>ボタンをクリックします。



2. 以下の確認画面が表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。



3. 以下の確認画面が表示されるので、<完了>ボタンをクリックし、アンインストールを完了します。



2.3.2 ETERNUS Information Providerサービスの起動と停止

ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降、ETERNUS Information Providerは使用しません。

2.3.2.1 サービスの起動

運用管理サーバを再起動するか、または管理ツールのサービスの画面から、“ETERNUS Information Provider”サービスを開始してください。

2.3.2.2 サービスの停止

管理ツールのサービスの画面から、“ETERNUS Information Provider”サービスを停止してください。

2.4 ETERNUS SF Storage Cruiser V16.0以降

2.4.1 ETERNUS SF Managerへの設定

ETERNUS SF V16.0以降、本機能を使用するためには、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack 用の properties ファイルの作成・設定が必要です。以下の設定を ETERNUS SF Manager に行ってください。

1) Properties ファイルの作成・設定を行う。

「[B.2 Properties ファイル](#)」を参照して、Properties ファイルを作成してください。Properties ファイルの設定は ON にしてください。

2) Properties ファイルを ETERNUS SF Manager へ反映する。

ETERNUS SF の GUI 操作画面から[システム]->[システム設定]->[設定ファイルの更新]をクリックし、設定ファイルを ESF Manager へ反映します。

第3章 運用

本章では、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackおよびETERNUS Information Providerの運用について説明します。

3.1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packの運用

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackによるETERNUSストレージレイの監視について説明します。

- [監視対象サーバの検出](#)
- [画面構成](#)

3.1.1 監視対象サーバの検出

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packは、ESCの運用管理サーバをSCOM監視対象サーバとすることで、ETERNUSディスクレイのイベントを監視します。

監視対象となるサーバが既にSCOM上で検出済みの場合は、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packをインポートすることで、自動的に監視対象となります。

サーバが未検出の場合は、SCOMエージェントによる監視対象サーバとして、新たに検出する必要があります。検出手順の詳細についてはSCOMのドキュメントを参照してください。

注意

- 監視対象サーバが検出されるまでには、しばらく時間がかかる場合があります。
- 本管理パックでは、ETERNUS Information Providerの一部のファイルを監視対象として、SCOMエージェントがアクセス権を取得します。このため、監視対象サーバのETERNUS Information Providerをアンインストールした後、一部のファイルが削除されない場合があります。この場合は、アンインストール後に当該サーバ情報が「状態」表示から消えるまで待ってください。その後、必要に応じてファイルを手作業で削除してください。「状態」表示については、「[3.1.2.2 状態](#)」を参照してください。
- ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降、ETERNUS Information Providerは使用しません。

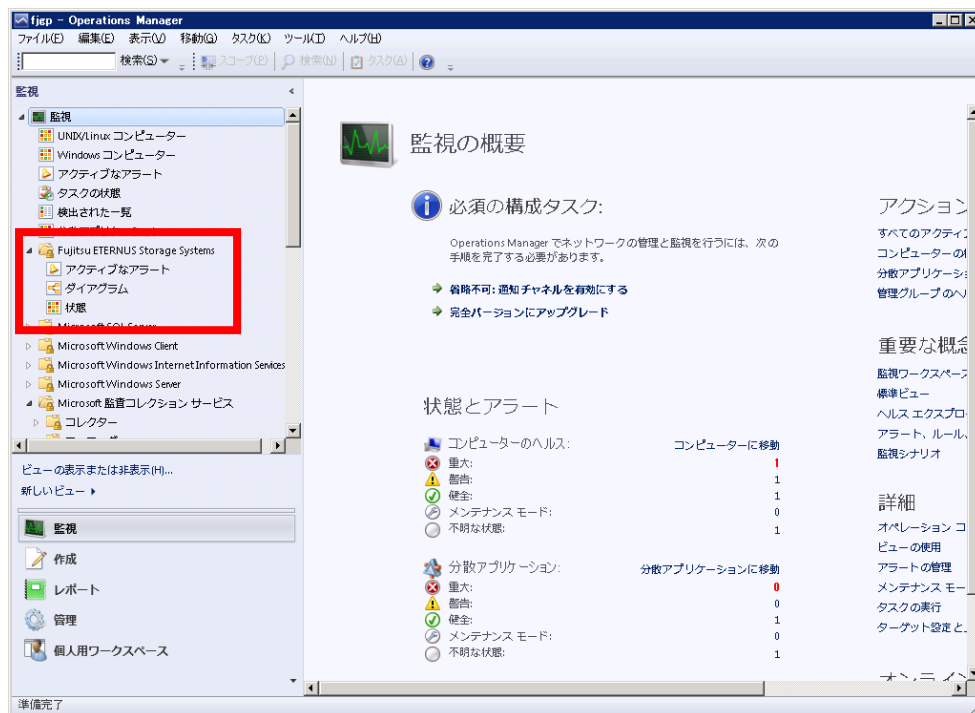
3.1.2 画面構成

Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packをインポートした場合の画面構成について説明します。

3.1.2.1 [監視]ペイン

ETERNUSディスクアレイの統合情報は、[監視]ペインに表示します。

本管理パックのインポートによって、[監視]ペインに追加する情報について説明します。



ナビゲーションウィンドウのツリーに、以下のフォルダを追加します。

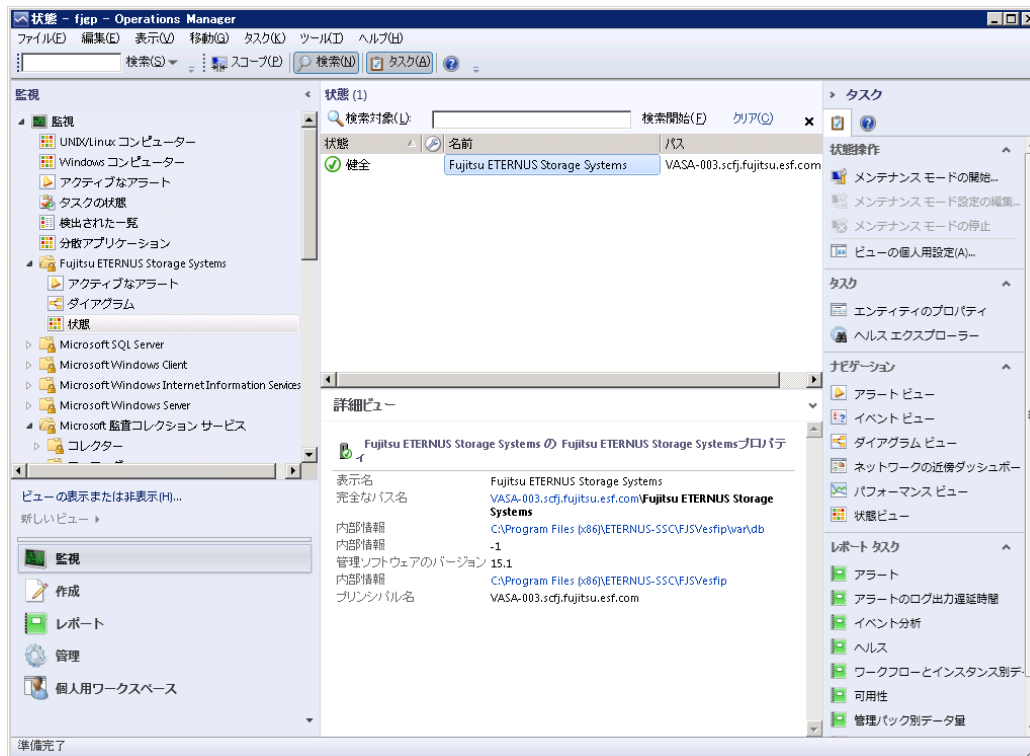
- Fujitsu ETERNUS Storage Systems

フォルダの配下に、以下の項目を追加します。

- アクティブなアラート
アクティブなアラートを表示します。詳細は「[3.1.2.4 アクティブなアラート](#)」を参照してください。
- ダイアグラム
ダイアグラムを表示します。詳細は「[3.1.2.3 ダイアグラム](#)」を参照してください。
- 状態
状態を表示します。詳細は「[3.1.2.2 状態](#)」を参照してください。

3.1.2.2 状態

[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[状態]を選択した場合は、ETERNUSディスクアレイに関する統合情報の一覧を表示します。



本管理パック固有の情報として、以下を設定しています。

項目名	内容	備考
状態	以下の状態情報を統合した情報 <ul style="list-style-type: none"> 監視対象サーバ上で必要となるサービスの稼働状態の情報 ETERNUSディスクアレイに関するイベントトラップ状態の情報 	状態が「健全」でない場合は、「 3.1.2.4 アクティブなアラート 」を参照し、必要に応じて対処してください。
名前	“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”	
管理ソフトウェアのバージョン	ESCマネージャのバージョン情報	

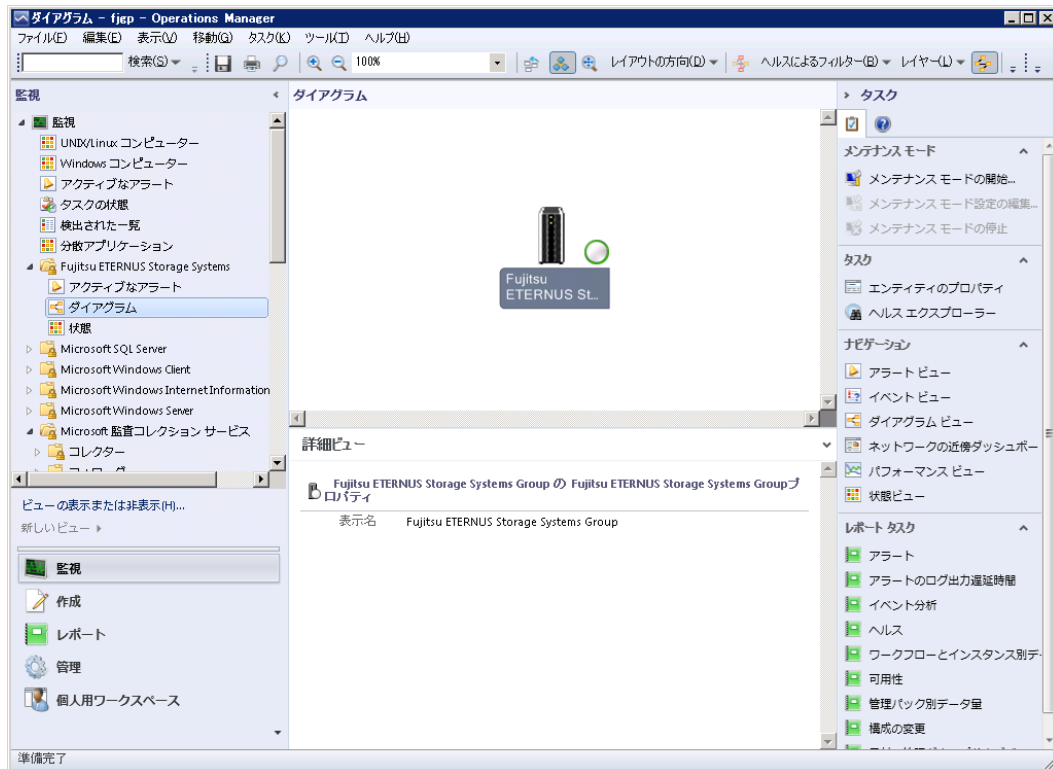
注意

- 本管理パックでは、検出した監視対象サーバの情報を、ETERNUSディスクアレイに関する統合情報として扱います。
- 本管理パックでは、表示対象とする項目や表示順序を規定していません。必要に応じて「表示の個人用設定」を実施してください。「表示の個人用設定」の詳細については、SCOMのドキュメントを参照してください。

3.1.2.3 ダイアグラム

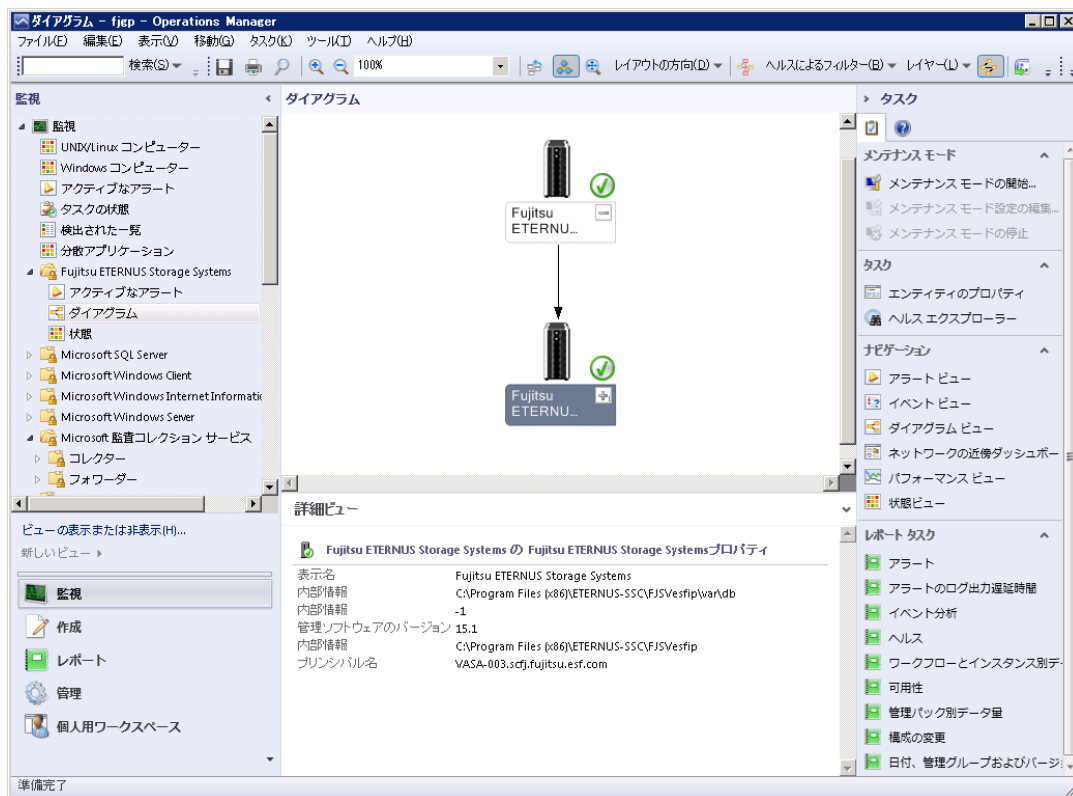
[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[ダイアグラム]を選択した場合は、ETERNUSディスクアレイに関する統合情報をアイコンとして表示します。

管理パックのインポート後、監視対象サーバが検出されるまでは、“Fujitsu ETERNUS Storage Systems Group”アイコンのみを表示します。



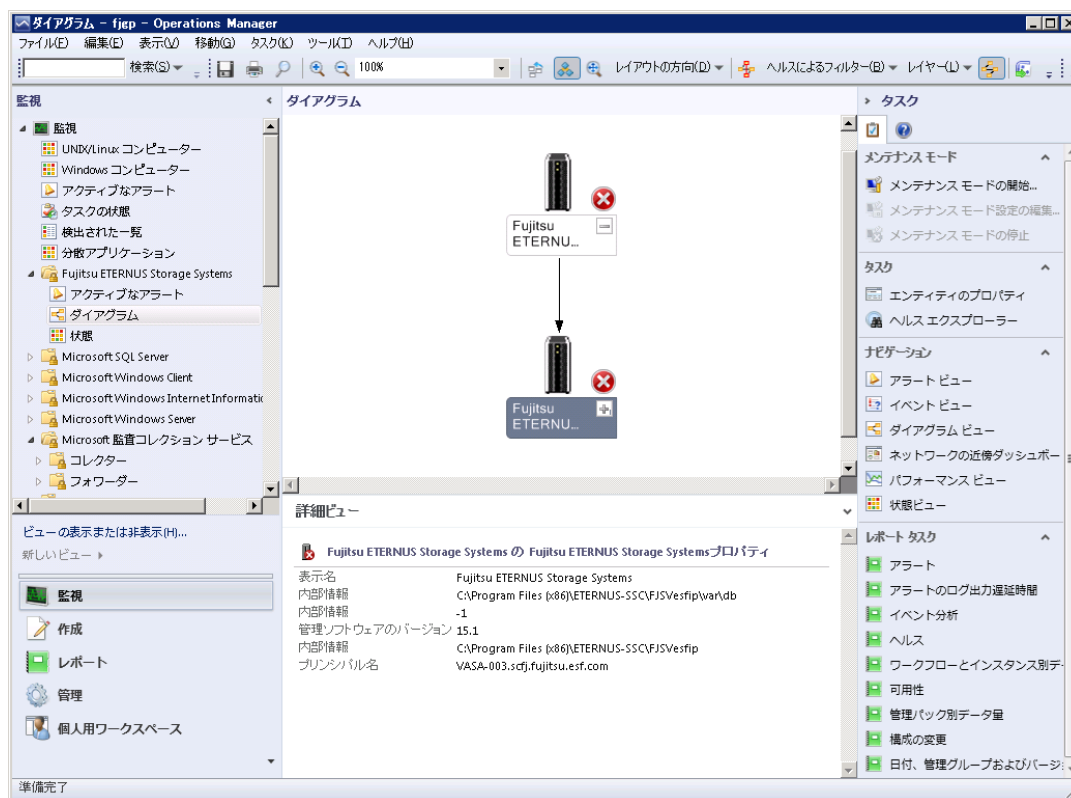
監視対象サーバが検出された場合は、“Fujitsu ETERNUS Storage Systems Group”の下に、ETERNUSディスクアレイに関する統合情報を示す“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”アイコンを表示します。

“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”アイコンの状態については、[3.1.2.2 状態](#)を参照してください。



ETERNUSディスクアレイに関する統合情報として何らかの異常が発生した場合は、“Fujitsu ETERNUS Storage

Systems”アイコンおよび“Fujitsu ETERNUS Storage Systems Group”アイコンの状態に反映されます。



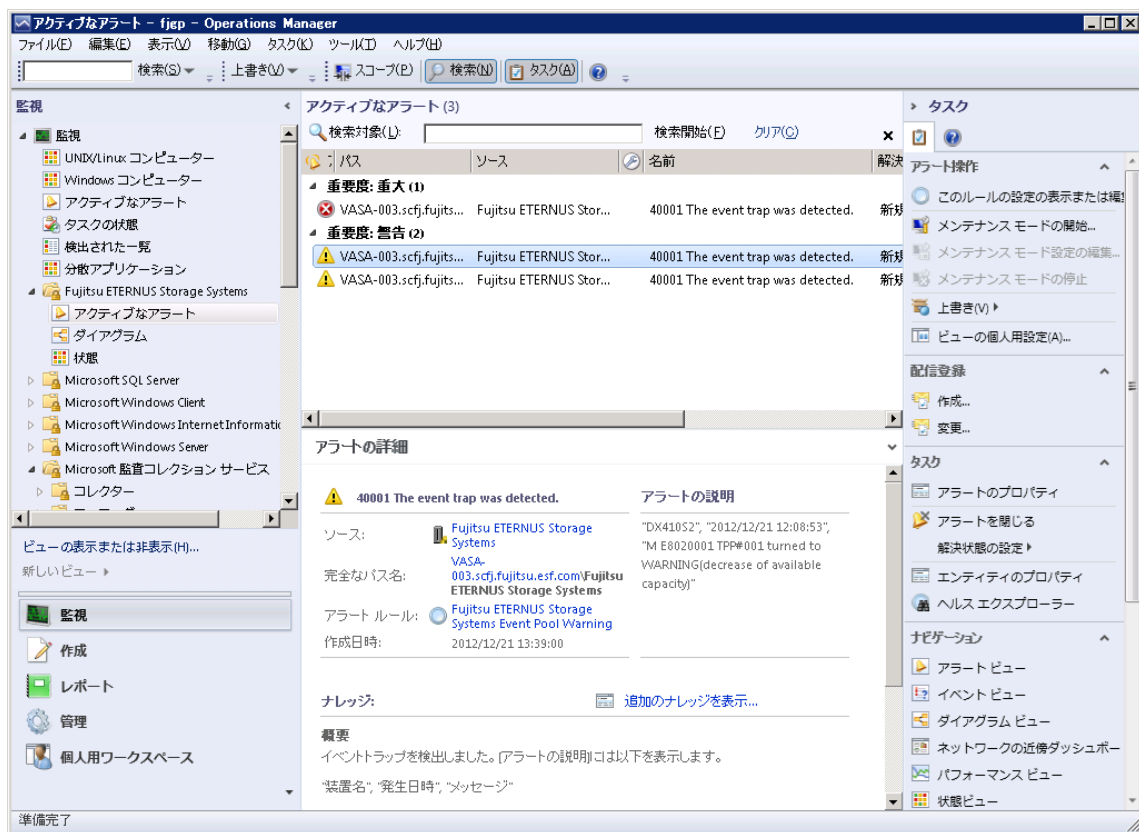
注意

- 本管理パックでは、検出した監視対象サーバの情報を、ETERNUSディスクアレイに関する統合情報として扱います。
- 監視対象サーバが複数検出された場合は、“Fujitsu ETERNUS Storage Systems”アイコンが複数表示されます。この場合は[詳細表示]-[プリンシパル名]を参照してサーバを区別してください。

3.1.2.4 アクティブなアラート

[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[アクティブなアラート]を選択した場合は、検出したアラートを表示します。

本管理パックで検出するアラートの詳細は、[「A.1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのメッセージ」](#)を参照してください。



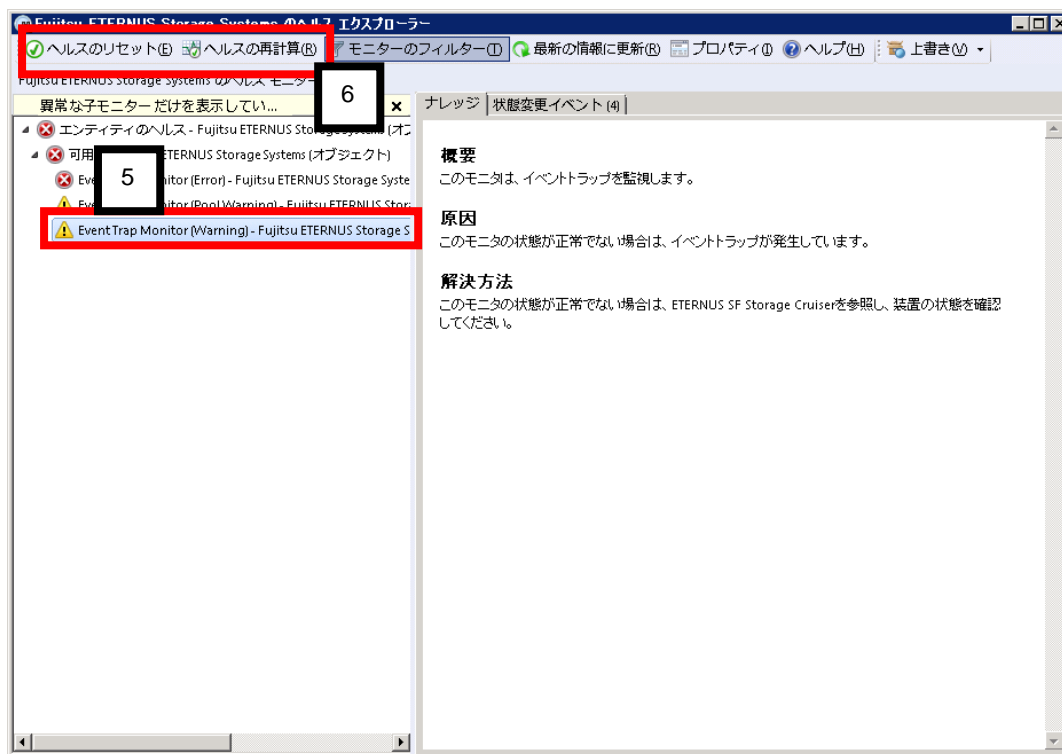
検出したアラートについては、「アラートの説明」および「ナレッジ」の内容を確認し、対処してください。

対処後は、必要に応じて[タスク]-[アラートを閉じる]を実行し、アラートを閉じてください。

なおアラート種別によっては、アラートを閉じても自動的に統合状態が「健全」になりません。この場合は以下の手順で、状態情報を手動で「健全」に設定する必要があります。

- 1) 検出したアラートについて対応した後、アラートをすべて閉じます。
- 2) [監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[状態]を選択します。
- 3) ETERNUSディスクアレイに関する統合情報の一覧で、異常となっている行を選択します。
- 4) [タスク]-[ヘルスエクスプローラ]を開きます。

- 5) [Fujitsu ETERNUS Storage Systemsのヘルスマニタ]で、「健全」に設定したい項目を選択します。
- 6) メニューの[ヘルスのリセット]または[ヘルスの再計算]を実行します。
- 7) ヘルスエクスプローラを閉じます。



注意

- 本管理パックでは、既定の状態では解決状態が「新規」となっているアラートのみを表示します。それ以外の表示対象とする項目や表示順序については、本管理パックでは規定していません。必要に応じて「表示の個人用設定」を実施してください。「表示の個人用設定」の詳細については、SCOMのドキュメントを参照してください。

3.2 PRO 機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packの運用

PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackによるETERNUSストレージアレイの監視について説明します。

- [監視対象サーバの検出](#)
- [画面構成](#)

3.2.1 監視対象サーバの検出

PRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packは、「[3.1.1 監視対象サーバの検出](#)」により検出されたサーバを対象とし、かつSCVMMサーバ名が登録されたサーバを検出します。

SCVMMサーバ名の登録は以下の手順により実施します。

- 1) 監視対象サーバでコマンドプロンプトを起動します。
- 2) 次のコマンドラインを実行し、実行場所を移動します

➤ ETERNUS SF Storage CruiserのV15.X以前

```
> cd (Information Providerのプログラムディレクトリ)\¥bin
```

※(Information Providerのプログラムディレクトリ)は「[2.3.1.2.1 インストール手順](#)」で設定した[プログラムディレクトリ]を指定します。

➤ ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降

defreginfo.exeコマンドは事前にダウンロードサイトからダウンロードしてください。

```
> cd (defreginfo.exeをダウンロードしたディレクトリ)
```

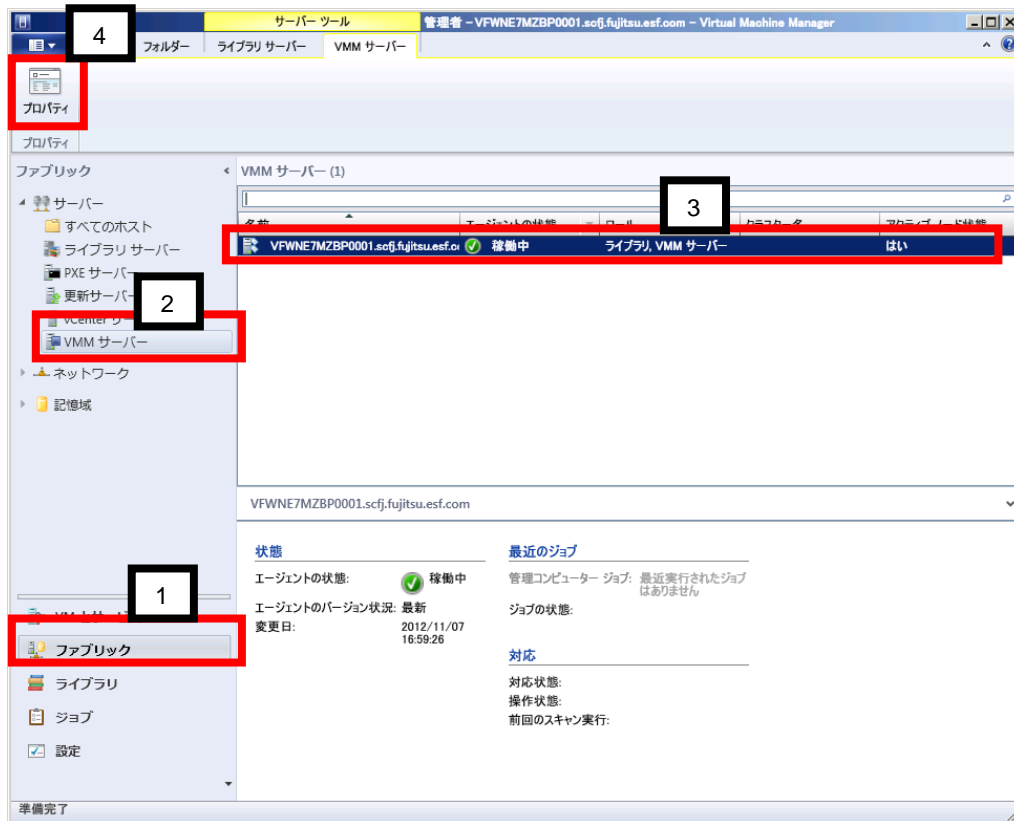
- 3) 次のコマンドラインを実行し、SCVMMサーバ名を登録します。
詳細は「[C.1 SCVMMサーバ名登録コマンド](#)」を参照してください。

```
> defreginfo.exe -a -F (SCVMMサーバ名)
```

また、次の手順によりPRO機能用 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのモニタを有効化する必要があります。モニタを有効化することにより、「[3.2.2.2 PRO State](#)」、「[3.2.2.3 PRO Alerts](#)」、「[3.2.2.4 PROヒント](#)」それぞれの機能が有効になります。

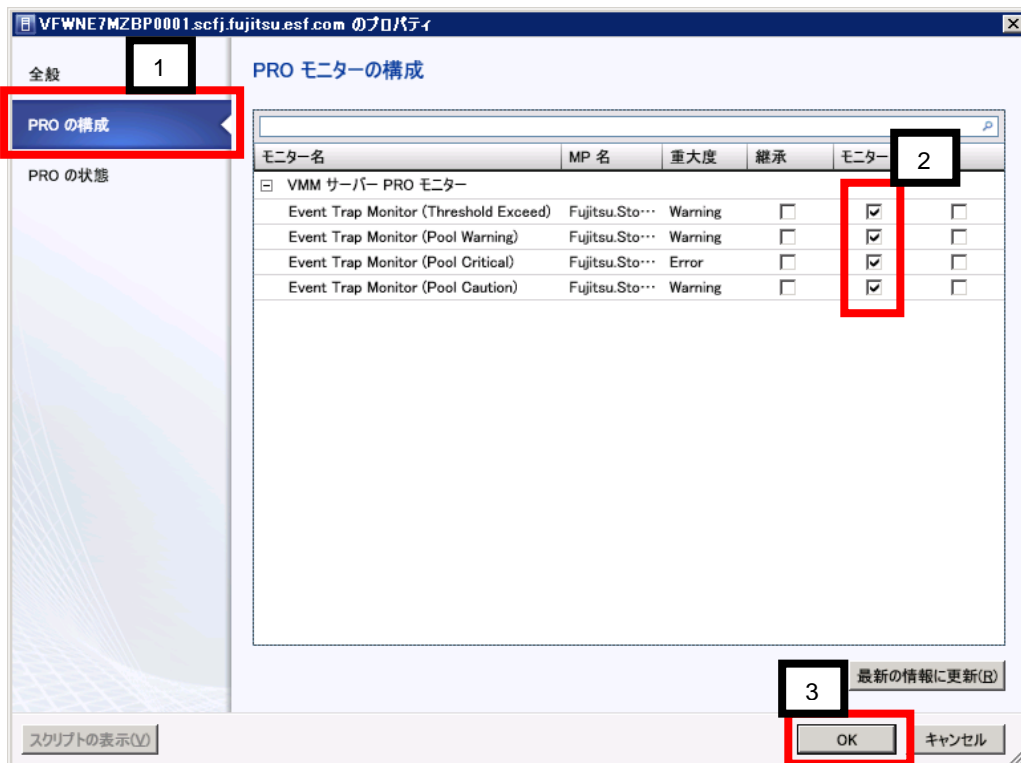
1. SCVMMコンソールの起動

- 1) SCVMMコンソールを起動し、[ファブリック]ペインを表示します。
- 2) ナビゲーションウィンドウの[VMMサーバー]を選択します。
- 3) VMMサーバーの一覧から、対象のVMMサーバー名を選択します。
- 4) リボンから[プロパティ]を実行し、プロパティダイアログを開きます。



2. プロパティダイアログ

- 1) 「(SCVMM名)のプロパティ」ダイアログで、[PROの構成]を選択します。
- 2) 「PROモニターの構成」に表示される「モニター」チェックボックスをすべてチェック状態にします。
- 3) [OK]を実行します。



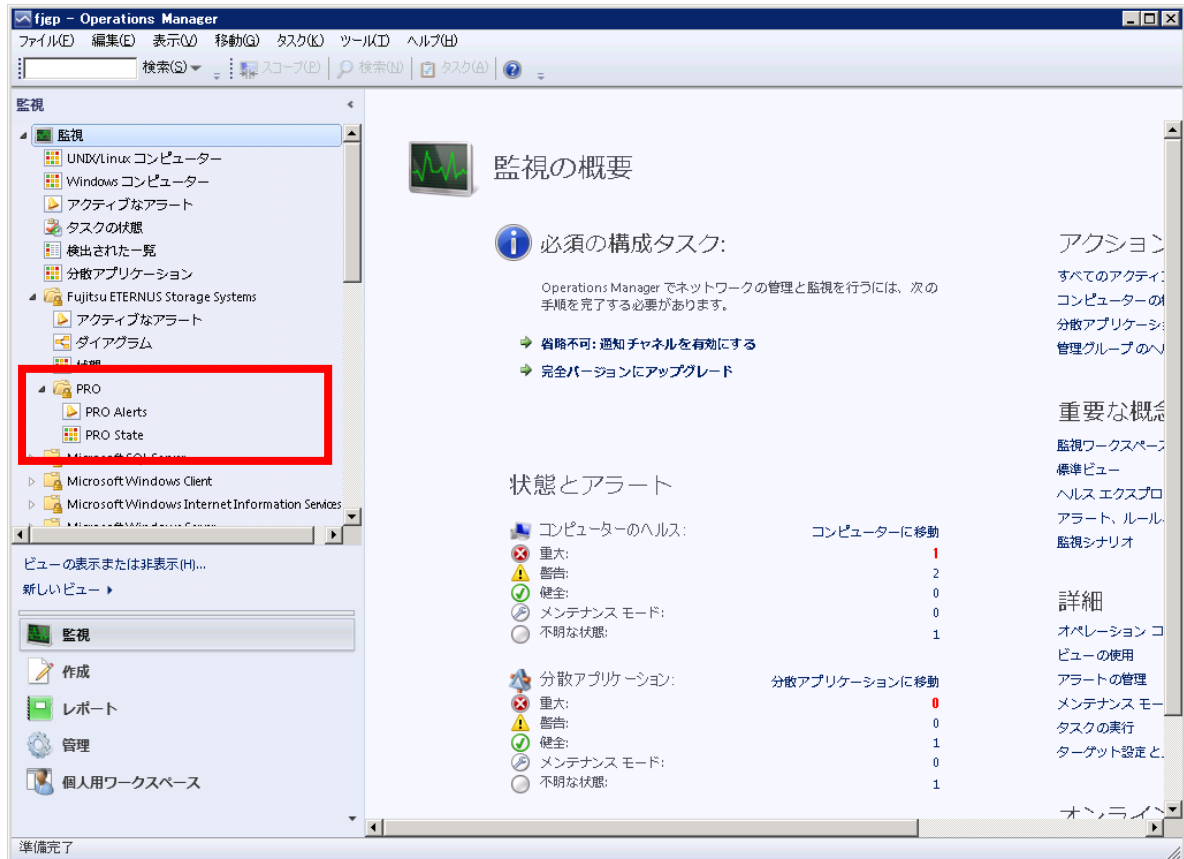
3.2.2 画面構成

PRO機能用Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packをインポートした場合の画面構成について説明します。

3.2.2.1 [監視]ペイン

ETERNUSディスクアレイの統合情報は、[監視]ペインに表示します。

本管理パックのインポートによって、[監視]ペインに追加する情報について説明します。



ナビゲーションウィンドウのツリーに「[3.1.2.1 \[監視\]ペイン](#)」で追加されたFujitsu ETERNUS Storage Systemsフォルダ配下に、以下のフォルダを追加します。

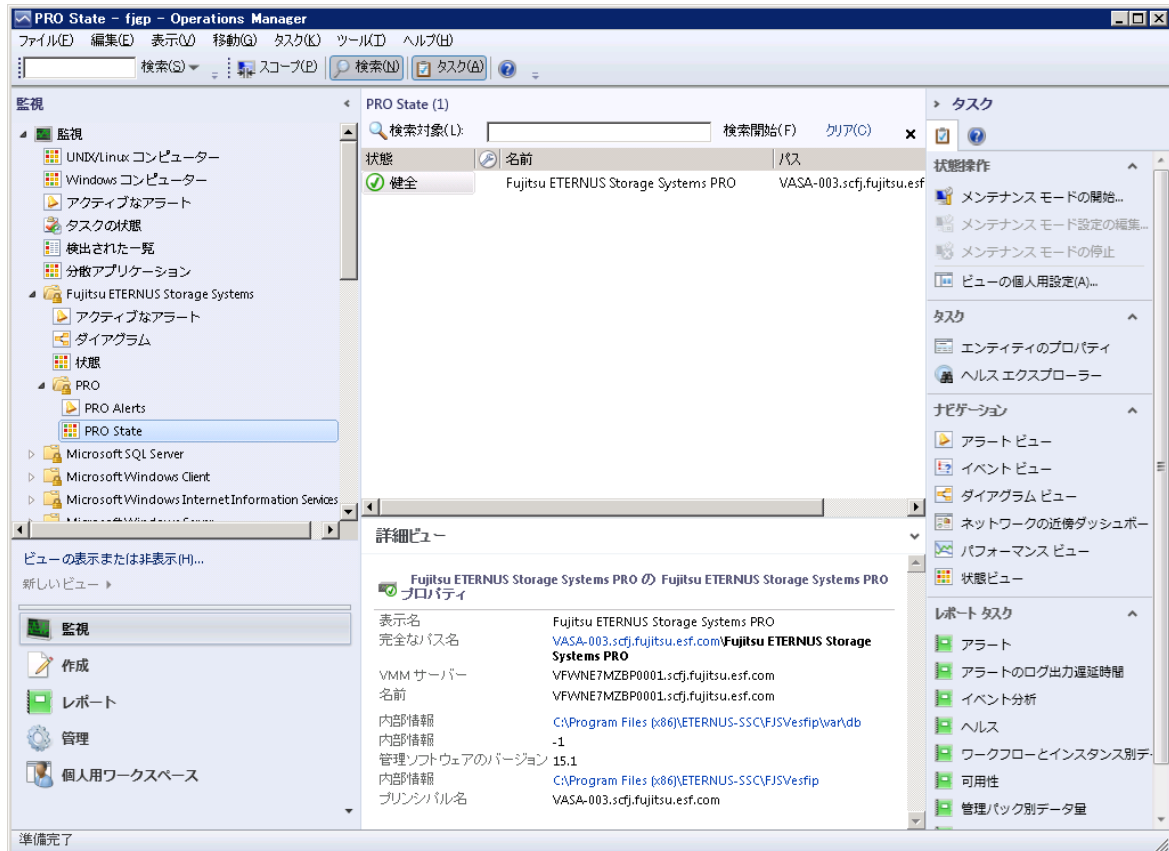
- PRO

フォルダの配下に、以下の項目を追加します。

- PRO Alerts
PROに関するアクティブなアラートを表示します。詳細は「[3.2.2.3 PRO Alerts](#)」を参照してください。
- PRO State
PROに関する状態を表示します。詳細は「[3.2.2.2 PRO State](#)」を参照してください。

3.2.2.2 PRO State

[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[PRO]-[PRO State]を選択した場合は、ETERNUSディスクアレイのPROに関する状態情報の一覧を表示します。



本管理パック固有の情報として、以下を設定しています。

項目名	内容	備考
状態	以下の状態情報 <ul style="list-style-type: none"> ETERNUSディスクアレイの性能に関するイベントトラップ状態の情報 	状態が「健全」でない場合は、 「3.2.2.3 PRO Alerts」 を参照し、必要に応じて対処してください。
名前	“Fujitsu ETERNUS Storage Systems PRO”	
管理ソフトウェアのバージョン	ESCマネージャのバージョン情報	

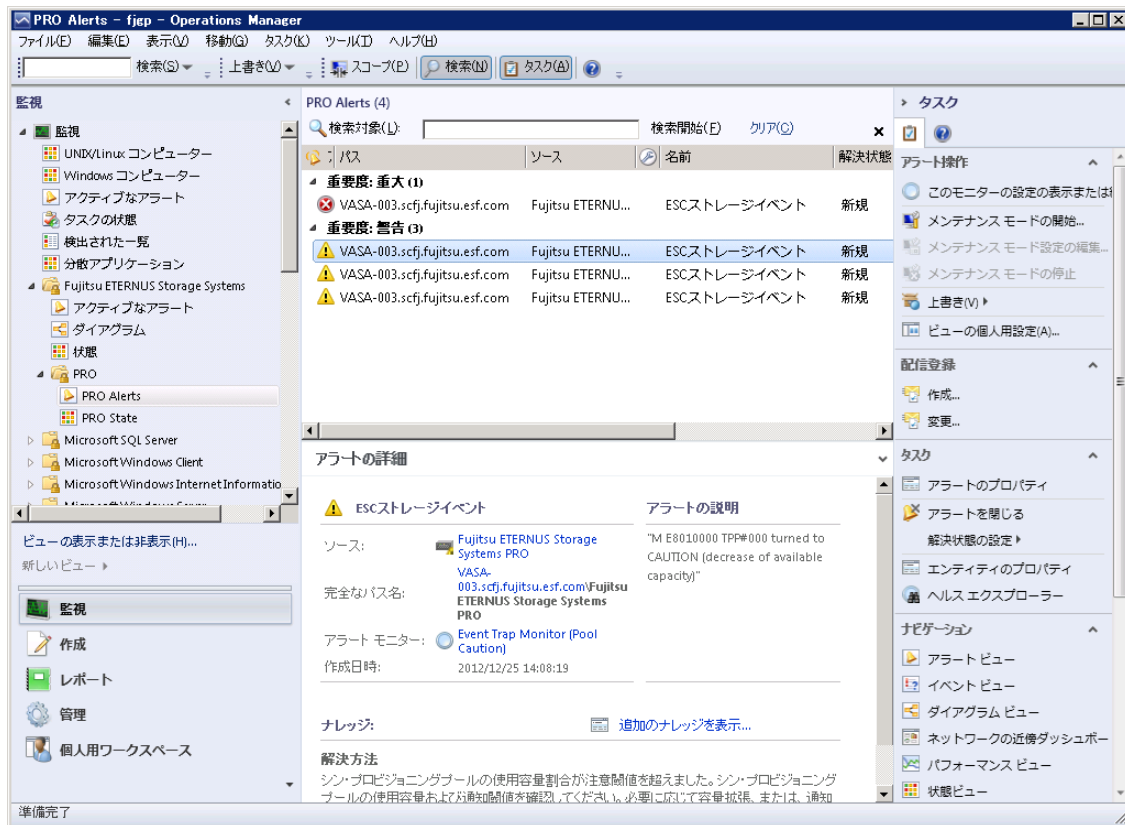
注意

- 本管理パックでは、検出した監視対象サーバの性能に関する情報を、ETERNUSディスクアレイに関する状態情報として扱います。
- 本管理パックでは、表示対象とする項目や表示順序を規定していません。必要に応じて「表示の個人用設定」を実施してください。「表示の個人用設定」の詳細については、SCOMのドキュメントを参照してください。

3.2.2.3 PRO Alerts

[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[PRO]-[PRO Alerts]を選択した場合は、検出したアラートを表示します。

本管理パックで検出するアラートの詳細は、[「A.1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Packのメッセージ」](#)を参照してください。



検出したアラートについては、PROヒントとしてSCVMMコンソール上にも表示されます。詳細とアラートの対処については、「[3.2.2.4 PROヒント](#)」を参照してください。

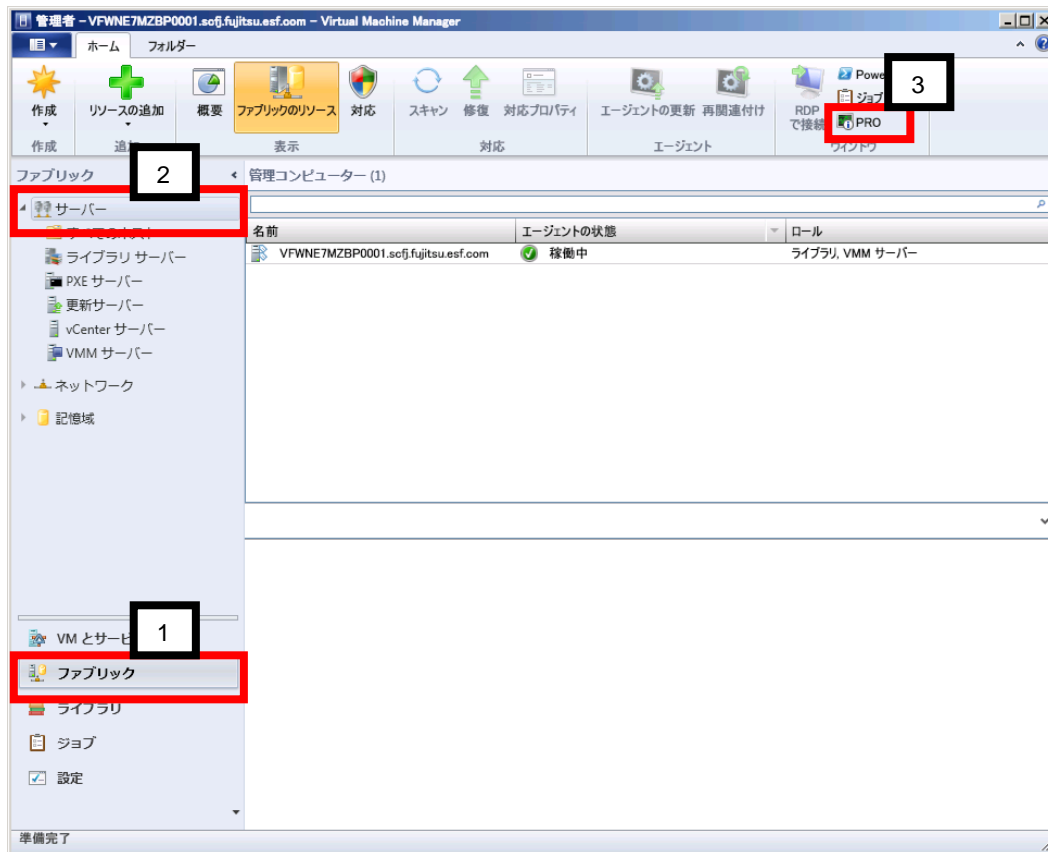
注意

- 本管理パックでは、既定の状態では解決状態が「新規」となっているアラートのみを表示します。それ以外の表示対象とする項目や表示順序については、本管理パックでは規定していません。必要に応じて「表示の個人用設定」を実施してください。「表示の個人用設定」の詳細については、SCOMのドキュメントを参照してください。

3.2.2.4 PROヒント

PRO Alertsで検出したアラートは、SCVMMコンソール上でPROヒントとして表示します。PROヒントは以下の手順により一覧を表示することができます。

- 1) SCVMMコンソールを起動し、[ファブリック]ペインを表示します。
- 2) ナビゲーションウィンドウの[サーバー]を選択します。
- 3) リボンから[PRO]を実行し、PROウィンドウを開きます。



PROウィンドウに、検出したPROヒントの一覧が表示されます。



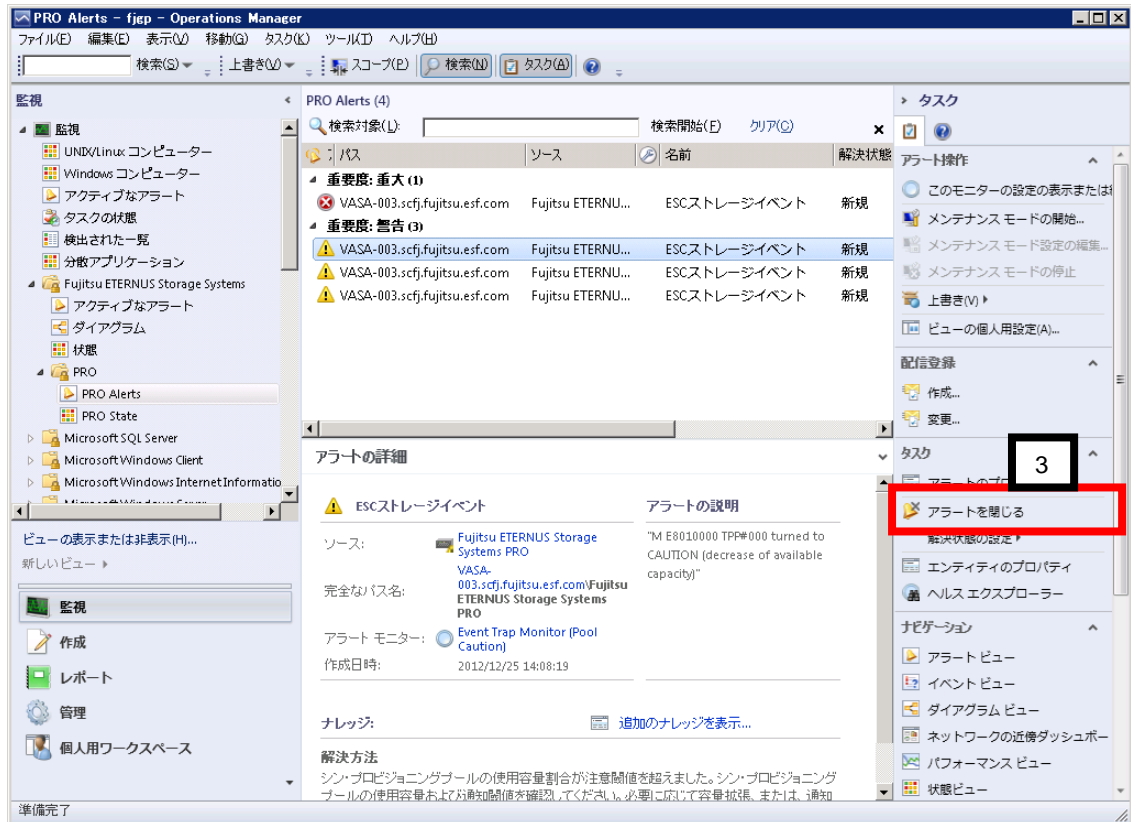
検出したPROヒントについては、「原因と対処方法」の内容を確認し、対処してください。

対処後は、必要に応じて[実装]を実行し、PROヒントを閉じてください。「[3.2.2.3 PRO Alerts](#)」で表示される、対応したアラートも閉じられます。

また、[破棄]を実行すると、PROヒントを閉じることができますが、「[3.2.2.3 PRO Alerts](#)」で表示される、対応したアラートは閉じられません。この場合は以下の手順により対処を行う必要があります。

1. アラートを閉じる

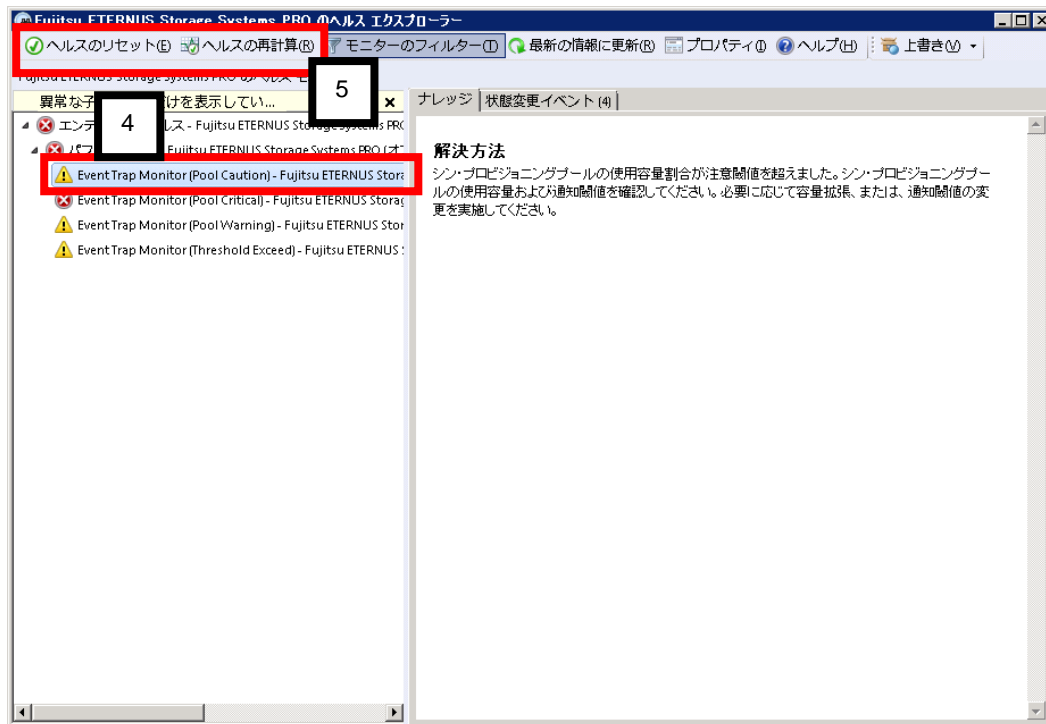
- 1) SCOMオペレーションコンソールを起動し、[監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[PRO]-[PRO Alerts]を選択します。
- 2) PRO Alertsの一覧から、閉じるアラートを選択します。
- 3) [タスク]-[アラートを閉じる]を実行し、アラートを閉じます。



なお、アラートを閉じても自動的に統合状態が「健全」になりません。次の手順で状態情報を手動で「健全」に設定する必要があります。

2. 状態情報を「健全」に設定する

- 1) [監視]ペインのナビゲーションウィンドウで[Fujitsu ETERNUS Storage Systems]-[PRO]-[PRO State]を選択します。
- 2) ETERNUSディスクアレイに関する状態情報の一覧で、異常となっている行を選択します。
- 3) [タスク]-[ヘルスエクスプローラ]を開きます。
- 4) [Fujitsu ETERNUS Storage Systems PROのヘルスモニタ]で、「健全」に設定したい項目を選択します。
- 5) メニューの[ヘルスのリセット]または[ヘルスの再計算]を実行します。
- 6) ヘルスエクスプローラを閉じます。



3.3 保守情報の採取

保守情報の採取について説明します。

3.3.1 ETERNUS SF Storage Cruiser保守情報の採取

トラブル発生時や問合せ時は、以下の情報と資料を当社技術員(SE)に提供してください。

- 現象
- 発生時刻
- 再現性
- Storage Cruiserの保守情報

運用管理サーバ(Windows)の調査資料を採取してください。

Storage Cruiserのバージョン14.2または14.2Aの場合、運用管理サーバ(Windows)の調査資料は、『ETERNUS SF Storage Cruiser 14.2 ユーザーズガイド』の「付録D トラブルシューティング」を参照してください。

Storage Cruiserのバージョン15.0B以降の場合、運用管理サーバ(Windows)の調査資料は、『ETERNUS SF Storage Cruiser 運用ガイド』の「付録B トラブルシューティング」を参照してください。

3.3.2 ETERNUS Information Provider保守情報の採取

トラブル発生時や問合せ時は、以下の情報と資料を当社技術員(SE)に提供してください。ETERNUS SF Storage CruiserのV16.0以降では、ETERNUS Information Providerを使用しないため、本保守情報の採取は不要です。

- 現象
- 発生時刻
- 再現性
- ETERNUS Information Providerの保守情報

以下のデータを採取してください。

- <環境設定ディレクトリ>%FJSVesfip%etc
 - <作業用ディレクトリ>%FJSVesfip%var
 - <プログラムディレクトリ>%FJSVesfip%tomcat%conf
 - <プログラムディレクトリ>%FJSVesfip%tomcat%logs
-
-
-

付録A メッセージ

本章では、Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring PackおよびETERNUS Information Providerのメッセージについて説明します。

A. 1 Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack のメッセージ

本管理パックのアラートで表示するメッセージについて説明します。

メッセージは、アラートの[名前]として表示されます。

A. 1. 1 サービス状態に関するメッセージ

11001

Necessary service is not running.

メッセージの意味

監視対象サーバ上で、ETERNUSディスクアレイの監視に必要なサービスが動作していません。

[アラートの説明]の内容

動作していないサービス名

システムの処理

監視対象サーバの状態を「重大」とします。

システム管理者の処置

監視対象サーバ上で、[アラートの説明]で示されるサービスが動作しているか確認してください。停止している場合は起動してください。

補足情報

- 本アラートは、問題が解決されると自動的に閉じられます。さらに、本アラートに伴う監視対象サーバの「重大」状態は自動的に解除されます。

A. 1. 2 イベントトラップに関するメッセージ

40001

The event trap was detected.

メッセージの意味

イベントトラップを検出しました。

[アラートの説明]の内容

“%1”, “%2”, “%3”

%1: イベントトラップ発生元の装置名

%2: ESCマネージャがイベントトラップを検出した日時

%3: 装置から得られたイベントトラップメッセージ

システムの処理

トラップの種別に従って、監視対象サーバの状態を変更します。

システム管理者の処置

ESCクライアントを参照し、イベントトラップ発生元の装置の状態を確認してください。

補足情報

- ETERNUS Information Providerがサポートするストレージ装置に対するイベントトラップを検出します。検出対象となるストレージ装置については「[1.2.2.1 ハードウェア条件](#)」を参照してください。
- イベントトラップメッセージにカンマが含まれる場合、メッセージがカンマで分割され、[アラートの説明]には一部分のみが表示されることがあります。メッセージの全文を確認したい場合は、アラートのプロパティの[アラートのコンテキスト]-[フィールド7]以降を参照してください。カンマで分割された部分文字列が表示されます。
- 検出対象は、ESCマネージャに登録されているストレージ装置から発生した、障害レベルWarningまたはErrorのイベントトラップ情報です。詳細は「ETERNUS SF Storage Cruiserイベント説明書」を参照してください。
- 本アラートは、問題を解決した後、手動で閉じてください。アラートを閉じる方法については「[3.1.2.4 アクティブなアラート](#)」を参照してください。
- アラートの原因を解決した後、状態を「健全」に戻す手順については「[3.1.2.4 アクティブなアラート](#)」を参照してください。
- 同時に50個を超えるイベントトラップが発生した場合は、最新の50個に対してアラートを生成します。50個を超えた分は無視します。

A. 1.3 PROに関するメッセージ

ESCストレージイベント

メッセージの意味

ESCストレージイベントを検出しました。

[アラートの説明]の内容

“%1”

%1: 装置から得られたイベントトラップメッセージ

システムの処理

トラップの種別に従って、監視対象サーバの状態を変更します。

システム管理者の処置

ESCクライアントを参照し、イベントトラップ発生元の装置の状態を確認してください。

補足情報

- ETERNUS Information Providerがサポートするストレージ装置に対するイベントトラップを検出します。検出対象となるストレージ装置については「[1.2.2.1 ハードウェア条件](#)」を参照してください。
- イベントトラップメッセージにカンマが含まれる場合、メッセージがカンマで分割され、[アラートの説明]には一部分のみが表示されることがあります。メッセージの全文を確認したい場合は、アラートのプロパティの[アラートのコンテキスト]-[フィールド7]以降を参照してください。カンマで分割された部分文字列が表示されます。
- 検出対象は、ESCマネージャに登録されているストレージ装置から発生した、閾値情報に関するイベントトラップ情報です。詳細は「ETERNUS SF Storage Cruiserイベント説明書」を参照してください。
- 本アラートは、問題を解決した後、手動で閉じてください。アラートを閉じる方法については「[3.2.2.4 PROヒント](#)」を参照してください。
- 同時に50個を超えるイベントトラップが発生した場合は、最新の50個に対してアラートを生成します。50個を超えた分は無視します。

A. 2 ETERNUS Information Providerのメッセージ

ETERNUS Information Providerが出力するメッセージについて説明します。

A. 2.1 イベントログ

ETERNUS Information Providerが出力するイベントログについて説明します。イベントログの種別は「アプリケーション」でソースは「fjsvesfip」です。

メッセージの説明**esfip10001**

Provider is started.

メッセージの意味

ETERNUS Information Providerサービスが起動しました。

種類

情報

システムの処理

なし

システム管理者の処置

不要

esfip11001

Provider is not started. (Service initialization failed.)

メッセージの意味

ETERNUS Information Providerサービスの起動に失敗しました。

種類

エラー

システムの処理

処理を中断します。

システム管理者の処置

調査資料を採取の上、当社技術員(SE)に連絡してください。

esfip20001

Provider is normally stopped.

メッセージの意味

ETERNUS Information Providerサービスが停止しました。

種類

情報

システムの処理

なし

システム管理者の処置

なし

esfip00001

Failed to get storage information. (%s1).

メッセージの意味

ストレージ情報の取得に失敗しました。

パラメーターの意味

%s1: ストレージ情報取得に失敗した原因を知らせるメッセージ。詳細は下記の表を参照してください。

種類

エラー

システムの処理

なし

システム管理者の処置

下記の表を参照してください。

esfip00001のパラメーター詳細

詳細メッセージ	Failed to decrypt user information.
原因	内部処理で異常が発生しました。
システム管理者の処置	繰り返し表示される場合は、調査資料を採取の上、当社技術員(SE)に連絡してください。

詳細メッセージ	Command not found.
原因	ESCがインストールされていないか、未対応のバージョンです。
システム管理者の処置	ESCがインストールされていない場合はインストールしてください。ESCがインストールされている場合は対応しているバージョンであることを確認してください。

詳細メッセージ	Command abnormally ended.
原因	ストレージ装置からの情報収集に失敗しました。
システム管理者の処置	<p>以下のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ESC管理下のストレージ装置に他のユーザーがログインしていないか。 ● ESC管理下のストレージ装置が本製品でサポートされているものか。 ● ESC管理下の装置の状態およびネットワーク環境に異常がないか。 <p>上記に当てはまらない場合は、指定したストレージ装置が他の操作でロックされている可能性があります。ETERNUSmgrを開いている場合は、ログアウトを行ってください。</p> <p>ESCを使用してストレージ装置の設定を変更(アクセスパス設定、アクセスパス継承実施中、Storage Volume Configuration Navigatorでストレージ装置設定を実施中など)を行っている場合は、作業完了後、ETERNUS Information Providerサービスを再起動してください。</p> <p>以上の処置を行っても、繰り返しこのメッセージが出される場合は、調査資料を採取の上、当社技術員(SE)に連絡してください。</p>

詳細メッセージ	Unable to connect to the manager.
原因	ESCが動作していません。
システム管理者の処置	ESCを起動してください。

詳細メッセージ	Internal error.
原因	内部エラーが発生しました。
システム管理者の処置	繰り返し表示される場合は、調査資料を採取の上、当社技術員(SE)に連絡してください。

詳細メッセージ	EffectiveFunction has invalid value.
原因	設定ファイルの項目EffectiveFunctionの値が不当です。
システム管理者の処置	設定ファイルの項目EffectiveFunctionの値を正しく設定し、ETERNUS Information Providerサービスを再起動してください。

詳細メッセージ	EffectiveCapability has invalid value.
詳細メッセージの意味	設定ファイルの項目EffectiveCapabilityの値が、不当です。
システム管理者の処置	設定ファイルの項目EffectiveCapabilityの値を正しく設定し、ETERNUS Information Providerサービスを再起動してください。

付録B 設定ファイル

本章では、設定ファイルについて説明します。

B.1 ETERNUS Information Provider の設定ファイル

本項では、ETERNUS Information Providerの設定ファイルについて説明します。

設定ファイルのあるディレクトリのパスとファイル名は下記の通りです。

ディレクトリのパス	<環境設定ディレクトリ>%FJSVesfp%etc%conf
ファイル名	InformationProvider.conf

ファイルの内容は、各行が、「項目名=値」の形式をしたテキストファイルです。

B.1.1 設定ファイルで設定する項目

以下の表に、設定ファイルで設定が必要な項目と、その値について説明します。設定ファイルの内容を変更する場合は、下記の手順で実施してください。

1. ETERNUS Information Providerサービスを停止する
2. 設定ファイルの内容を更新する
3. ETERNUS Information Providerサービスを再起動する

項目	値の型	値の説明	備考
EffectiveFunction	String	管理パック対応機能を有効にする場合は、「SCOM_MngPack」を指定します。 インストーラで「Fujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack」を有効にした場合は、初期状態で「SCOM_MngPack」指定されています。	

【注意】上記以外の設定項目については内部パラメーターですので、値の変更はしないでください。

B.2 Properties ファイル

本項では、ETERNUS SF Managerに設定するFujitsu ETERNUS Storage Systems Monitoring Pack用propertiesファイルについて説明します。propertiesファイルのあるディレクトリのパスとファイル名は下記の通りです。

ディレクトリのパス	<環境設定ディレクトリ>%ESC%Manager%etc%opt%FJSVssmgr%current%properties
ファイル名	deviceevent_mspack.properties

ファイルの内容は、各行が、「項目名=値」の形式をしたテキストファイルです。

B.2.1 propertiesファイルで設定する項目

以下の表に、propertiesファイルで設定が必要な項目と、その値について説明します。内容を変更する場合は、下記の手順で実施してください。

1. propertiesファイルの内容を更新する
2. ETERNUS SFのGUI画面を表示します。
3. [システム]->[システム設定]->[設定ファイルの更新]を押下します。

項目	値の説明	備考
com.fujitsu.storagesoft.opt.deviceevent.mspack	監視する場合 ON,それ以外は OFF デフォルト値(OFF)	

例:

com.fujitsu.storagesoft.opt.deviceevent.mspack=ON

付録C コマンドリファレンス

C.1 SCVMMサーバ名登録コマンド(defreginfo)

名前

defreginfo

形式

defreginfo -a -F *FQDN*

defreginfo -d

defreginfo -l

機能説明

SCVMMサーバのFQDNを追加、変更、削除、表示を行います。

オペランド

-F

SCVMMサーバのFQDNを指定します。

-a

SCVMMサーバのFQDNを追加します。既に追加されている場合はFQDNを変更します。

また、追加および変更後のSCVMMサーバのFQDNを表示します。

[表示形式]

Registered value: *FQDN*

-d

SCVMMサーバのFQDNを削除します。FQDNが未登録の場合はエラーになります。

-l

SCVMMサーバのFQDNを表示します。

[表示形式]

Registered value: *FQDN*

※FQDNが未登録の場合はFQDNは空文字になります。

注意事項

- defreginfoコマンドは、管理者権限で実行してください。

C.2 コマンドが出力するメッセージ

defreginfoコマンドを実行した場合に、コマンドプロンプト画面に表示されるメッセージについて説明します。

reginfo1001

parameter error

メッセージの意味

パラメーターが異常です。

種類

エラー

処置

正しいパラメーターを指定して、コマンドを再実行してください。

reginfo1002

registry creation error

%s1

メッセージの意味

レジストリの作成に失敗しました。

パラメーターの意味

%s1: エラーの詳細が表示されます。

種類

エラー

処置

エラーの詳細を参考に対処を実施してください。その後、コマンドを再実行してください。

本メッセージが繰り返し出力される場合は、調査資料を採取した後、当社技術員(SE)に連絡してください。

reginfo1003

registry deletion error

%s1

メッセージの意味

レジストリの削除に失敗しました。

パラメーターの意味

%s1: エラーの詳細が表示されます。

種類

エラー

処置

エラーの詳細を参考に対処を実施してください。その後、コマンドを再実行してください。

本メッセージが繰り返し出力される場合は、調査資料を採取した後、当社技術員(SE)に連絡してください。